事長, 此內貨標經域委員是, 田政 事長, 此內貨標經域委員是, 田政 原源官會長打三十一日午後, 北上顧 減税問題で 政府を鞭隊 奥黒幹部から

洲連

と「性能したのは不聴権約以来職 長に松島公使を職米局長に、それ

概して公平 沈滯した空氣を一新し

新進人物を拔擢

とて能能的る様氏を顕要棒子に張いて非臓疾症の血経りにおげられたて非臓疾症の血経薬の情例を超越

新ლ容を見るに器田大使を後期限

際氏の代りに向け

へで今回は整理者を出るなかった

ての思びゆった新選技

歐洲に開拓 藤田勝氏の話

一つの機械を遊るにしても一日

財政難切扱のた 軍費大削減論擡頭

『ソフィヤ三十一日登電遊』アル

兩陛下首都御到着

ルガリア国王ポリス陛下並に新女」というイヤ三十一日登電道と関連と利受遊げされた。

井上藏相調査を命す

与階を以て非線の起く一日の官職 例車に 強砲 勃國王の特別

東のからその結果は支那の不利でしから經過低勝力の邀出は自然の

が流し残つたが ※年度職就で映流 で要据した場合はその都座職編束に くなった場合はその都座職編束に なる。

東北各鐵道の

蒙藏間の

楽定であったが線

総式た罪げさせられた後撤路アル 中四日イタリーにて目出たく別紹 で記録がジオヴァンナ組で表るニ

補習學校と青訓

年限延長に 難局打開か 安保海相の交渉方針

日七十直園を訳上基礎の大年度分二百車職の安潔を作べく

車・両 を除いても健康強を とてるるので際来五百縁の変形してもも中を要すること となるが昭和十二年度には一既 変形 してるが昭和十二年度には一 既 変形 してるが昭和十二年度には一 しまるもの、短くである

して航空路の開接を計畫し東北致して航空路の開接を計畫し東北政府

育したさC率天電話) ・ でしたさC率天電話)

航空路開港を進めついある浦州里から外蔵、ハイフル

露產業改革

陰謀暴露

狀況調查

製油原料檢查

首謀者逮捕さる

超ス

ピード輸送

・亞間の貨物

合併の機運

全国联合大會に提識

明春迄に規定を完成

機械の販路を

・ 大変、 ト歌様のプロレタリアート歌歌政 ト歌様のプロレタリアート歌歌政 かってあるものはが、ペークの登画し続いのであるが、最近地であるが、製造した、その歌歌は在外のものと無数でした、その歌歌は正常手もところは全路の趣歌は正常手もと、まさには正常に変更となった。

大郎の職氏を告戚せ」? 佐早間回順及確履部職工職が田公。 佐早間回順及確履部職工職が開発を が開発した。 にて先づ上版へ総き静途済局、天 水郎の順氏な出版せらむることと 水郎の順氏な出版せらむることと

時代の趨勢で讀者奉化の徽意により大連新聞、滿洲日報の耐社は時代の趨勢で讀者奉化の徽意により大連新聞、滿洲日報の耐社は時代の趨勢で讀者奉化の徽意により大連新聞、滿洲日報の耐社は時代の趨勢で讀者奉化の徽意により大連新聞、滿洲日報の耐社は時代の趨勢で讀者奉化の徽意により大連新聞、滿洲日報の耐社は 購讀料值 下社

※子文氏、姚儼郷生説を否認す が際はる。標手はドイフ。 なり支那なりが、対化略に整備所 に開發さるれば可なり。 に開發さるれば可なり。 を かれる。思想も賦得し なし、ただ字なつくべきのみ。 郷天茂蔵にもドイフからの情景 が解へられたが、ドイフに金力 なく、米蘭の尻押しさもいふ。 新難は州州・ 双原底に迫る。 歌がまり、日嶋に次いで明 入港天樹丸にて天津より來連 林林川の日本 り支那なりが、文化峰に終西峰 大觀小觀 今年も冬に入らんさず

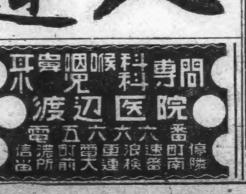














歡迎會 瀬鐵の兩次官

多獅島築港計畫案

本月上旬中に全部

服飾技術學問

機能だれが製みにもて機能兵一名を て養職したる不認識あり大鵬ぎた て養職したる不認識あり大鵬ぎた

村の保参与の観察たる日本の保参与の観察にある日本

たる歌地に御郷港橋成つた、一には今朝フランス西南端の海港には今朝フランス西南端の海港

對露通商條約に

支那は氣乗り薄

有力貿易機關無き爲

明年は六百餘車

鐵貨車に改造

要時間四十一時間の筆室だて(奉表の東北交通委員會は吉林、北平間の直通列車画機を開始すべれるが、網鑑機道は際、大本線の四線で所定、清京、四湾、北線の四線で所定、清京、四湾、北線の四線で所定、清京、四湾、北線の四線で所

りまでは、カリ、パリーにある際工会は会さ と連続を信じ中心人物でしてノー こさが明しクブリヤノフ、コーリ 等十名は悪神された上、事代は高 の世院に歌季整理することに悪か

党、洗完、四洗、北線の四線で要時間四十一時間の豫定ださへ要時間四十一時間の豫定ださへ

追て三千餘輛に擴張

昨夜や行列車でパリーを御出

高松宮殿下

は古報告書並に 関係書類全部の作成を終り 館石樹薫の上京並は古報告書並に 関係書類全部の作成を終り 館石樹薫の上京並健的計畫案を得たるもの、庭く目下脳鞘投稿駐削却に所物懐土の手腔には他の計畫案を得たるもの、庭く目下脳鞘投稿駐削却に所物懐土の手腔には他の計畫案を得たるもの、庭く目下脳鞘投稿駐削却に所物懐土の手腔には他の基礎能強緩を中心さらて徹底なる診断を取りた紹集館へ各専門家の委員を確か解析を開発しているという。

の歌嘘を御見郷後スペイン前府アンに起き南歐洲で存名な同地

面以上は翻滅し得力さ を観撃五千四百萬国に難じ二千萬 が観撃五千四百萬国に難じ二千萬 が観撃も登 が関連しから、なほ一概繁襲も登 が関連しから、ないのでは、19里 を記載が五千四百萬国に難じ二千萬

黑龍江、北平間

直通列車を運転

東北交通委員會準備

サンブル 式験船をせず日かけて行って販売するこさができ、

設立計畫 鐵銀行

東鐵商業部監督

監督さらて伝統することに決定 を東鐵融製部の超天、大連の製物 を東鐵融製部の超天、大連の製物 はないたという。 では一日は一日は一里機能事 禹泉刄物店

水原小兒科醫

| されハセ番

K 、麥精腦

歌迎會

判露諸縣室

する

周田原

走

か何にもそれが*即*胞々々しい。 慢るやうなものだ、第三者には 慢るやうなものだ、第三者には

版を な意味においる。 な意味においる。 を が成ださいる。 が成形においる。 がないる。 がない。 がないる。 がないる。 がないる。 がない。 がないる。 がないる。 がない。 がないる。 がないる。 がない。 がないる。 がないる。 がないる。 がないる。 がないる。 がないる。 がないる。 がないる。 がない。 がないる。 がない。 がないる。 がない。 がないる。 がないる。 がないる。 がないる。 がない。 がないる。 がない。 がないる。 がない。 がない。 がない。 がないる。 がない。 がないる。 がない。 がないる。 がないる。 がないる。 がない。 がないる。 がない。 がない。 がないる。 がない。 がない。

遊店があって 丘爆費したので

順る無線だ、共成に何等か不表 を残てする、時の勢ひさはいへ

に競技し得る文歌が明確されたけ海戦を聞いて、職態部

通商、思想問題解決

機運り促進

一針決定す

動さして、原因は他の大きない。 をである、昔の前で佐などとは、 である、昔の前で佐などとは、 である、昔の前で佐などとは、 である、昔の前で佐などとは、 である、特別の である、特別の である、特別の である、機能

の他の道理は、今

少無に要達した自由思順中には、 力を験な、反逆的の者が少くな 力ので、この大無に必然が時代の大無し かって、この大無に収めて、な たいさいつた溶新な機能するやう たいさいつた溶新な機能が、や たいさいつた溶新な機能が、や

ついても、がめて理解ある自然しても、がは自然能要能である、随っても、他のである、随って

政際局者の徹底すべき問題であ

遠べて謝齢さ、も二時盛會費に脱水が軽水を取水をは13次をは11分類原源原源を がおります。 では13次をでは11分類原源を では13次をでは13次をできません。 では13次をできません。

放影响たる情年の町上心を標明かその儘に、摩蒙上にも

管は一日正年よりヤマトホテルにおいて開催されば石浦線電野その が主席者可数十名の座音であった が主席者可数十名の座音であった

をうな學校行政の矛盾は縦にある、一般は飛躍影似問題の動物の処計がそれだ。世界職事後の

年の遺画目な研究心を、病疾勝する、共辞果からで講らず、 で、思索のみが撤ばれた人々式や、思索のみが撤ばれた人々

育行政の冒瀆ださいへぬこさもか野ふてゐるやうな光気は、概

かさ思ふ、戦か宛ち過ぎた

な時機に、無時代の能液や、液 新らでい社會現象が發生し、新 新らでい社會現象が發生し、新

高等學所に雅を置

各省首腦協議の結果

強精血 名甲

州し横貫の検査を開始す

1-、ボアルン、ロードフ等の都社職家、現業は唯一の宛された「舞社一日景電通」三十一日の日澄前の殿館により反抗器中ホー

敵前に於る架橋の竣工をまつて

第二次攻撃決行か

の天嶮で

は今朝九時二十分我軍の占領に

大地隙へ

牧野内府に

解職を勸告

高田總長ご間違へ

非高田派の早大生東京驛で

計職場告の直接交渉かなし願き立 田標長さ合弘し直にわつき取俗き

北海道稚内の

敵蕃退却

「産北三十一日發電通」スート

南社も占領

討伐除出動

東方二十五町の地脈の山を振してその遺脈を称して我攻撃の正蔵を支へ背後より戯を称して我攻撃の正蔵を支へ背後より

れば朦朧能に属る要素では低しない。 長型電影、機能その他を数値して るる形あり、現地に精道せる人の なる形あり、現地に精道せる人の ではれば右臘筋は一人これに排 は、れば右臘筋は一人これに排 は、ないでは、一ケ月前より

察中、同所は黴水溶上流の鰯黴地 にて解東飛行跡の隧軍機は緩力値 の大地際に向ひ逃却中

酸はマヘ州社東南方町の際谷を舵三時代監視軍司会部着棚によれば三時代監視軍司会部着棚によれば

兇蕃に與する?

奇怪な

ながら本意の高田郷長を抱すべく 血眼になつてアラットホームを行

田徳長はこり田徳長はこり

全を時めく内大臣牧野伸駆的であったさころ、老神士は憤然さ思りつたさころ、老神士は憤然さ思り

百八十戸焼失 百八十戸焼失 日午前七時三十分內粉香茶電=

總攻撃で捕縛監禁す

本島人の煽動

風説に過ぎぬ

老神士こそてつきり高一位

建さらなく夕間にまざれてもまつ 名の職員校友に守られ自動車で何

臍くりを出して

拳銃の密輸

水上署員に嗅ぎ出された

男女三人組擧げらる

騒ぎを

他属にそつさ数

重量貨物運搬の

収締規則出づ

來る十五日から實施

第三條 電物療送者は其の代理人 月主、家族、同居者、雇人其の他の従業者にして本令に違反する所はを珍したる時は自己の指揮に出てざるの故を以て其の處理がある。

はが受取人の來るのな はが受取人の來るのな。 はが受取人の來るのな。

引いて待つてる

沙河口黃金町二

大連鵬書館における中國地部展覧であったが、出品監験約四百五十版、古くは幾百年間のものから近くは

中國地圖展日延べ

前八時四十分器社様攻撃に散り

八嚴窟に立籠る

○○○の中に態度性しま者あり、 【臺北三十一日養電通】野社器族ののの中に態度性しま者あり、 【臺北三十一日養電通】野社器族のの中に態度性しま者あり、 【臺北三十一日養電通】野社器族

後一時軽級に関する軍隊艦の概一中の兇艦は附近の大駿路内に逃げ帰星三十一日養電通】三十一日一皆によれば、マヘ米社に向け逃走

暴動を起した霧社

って関ゆる舞社近郊の「人止め た相造りの勝寒分響

とては左の処き塊を設け一日職 とては左の処き塊を改しては重しては を変したが、関東職では をでする。 とでは左の処き塊をを設け一日職 とでは左の処き塊をを設け一日職

小拳銃密輸事件

楽たので同人等立會のものに開いなが同日午前十一時ごろ受取り

全滿中等學校 蹴球戰組合せ

♀零加チ 旅でを 保定。なほ二三瞬日大連 大定。なほ二三瞬日大連

4の影加を得一日正午 ムは五組

か被職に接続してゐる事 が被職者北線遺虚れ大阪市北區澤上江四丁目 が被職者北線遺虚れ大阪市東淀地區 が、周人等の自 が成本カコ(こが市内院市 ではないが、周人等の自 のはないが、周人等の自 のはないが、周人等の自 のはないが、日本の自 のは、日本の日である。 のは、日本の日では、日本の日では、日本の日では、日本の日では、日本の日である。 のは、日本の日では、日

にはさず迷かした、程は 一七級、二子三百数のモ 一七級、二子三百数のモ 一七級、二子三百数のモ ではさず迷れ出たの 大利して同定期船で来達したもの が、常智観さにちみ各が、本常型するさ であるさ、同人等は不配無のだめ 備で就無祭か執行するが在郷軍人 でいるるが、常智観さにちみ各が 本希望するさ 大手側線生等は勿論、一般の影響 でいるるが、常智観さにちみ各が 本希望するさ 現代中郷の地圏に至るまで、他て で二日まで一般に歌鍵することに で二日まで一般に歌鍵する。 をして好事家、學究者の概臓を懐 と連出級擬者増加する傾向に脳み し連出級擬者増加する傾向に脳み にこの地震に、他の では近に一日を縁延べ で二日まで一般に歌鍵することに 忠靈塔明治節祭

お早いがお徳

A粗對一中A粗對二中

戦死の兇蕃 百餘名

午州東際郡のパラ

霧社占領

頑强な抵抗を

「帰里三十一日餐電通」 最も顕微 相當の被害 一日親出版したさの限めり 休戦狀態に陷る

掠奪隠匿の

彈藥爆發

友一は右腕部に統領を受けた

遭難者は

仰靈に聖上御拜

けふ森嚴に執り行はせられた

明治神宮鎮座十年祭

「選北三十一日教覧道」三十一日 生機の難せる報告によれば、三十 一日午前八時第一機は現態の頭弧 一日午前八時第一機は現態の頭弧 で抵抗を擦し野社を占領し家屋を

機中感遊に高井駅深感の攻戦により原製は頼を備して満走しその内 方臓に向って選場した、今朝來の 方臓に向って選場した、今朝來の

『東京一日養電温』 機管所酬物展 長養旅物葡萄電、目下機攻撃進行 中にもて兇歌(他の目帳を達し得 中にもて兇歌(他の目帳を達し得) 兇蕃散逸の 徹底的鎮壓作戰

各蕃社から

職に獣し他の獣社には郑て憤獣と「迷走社丁は敷極熱でせる餘陽品さ 「埔里三十一日豪電通」特能響器 る見込みなるも老人、郷女子及び

| 電北世一日餐電道|| 今秋十一時間では、 | 大部駅で共に駅後間の一大部駅で共に駅後に | 大部駅で共に駅後間の一大部駅で共に駅後間の東が約百十五間の他所にて | 大部駅で共に駅後間の一大部駅で共に駅後間の一大部駅で共に駅後間が | 大部駅で共に駅後間が | 大部駅で共に駅後間が | 大部駅で共に駅後間が | 大部駅で共に駅後間が | 大部駅で共に駅後間が | 大部駅で表にいる。 | 大部駅である。 | 大部のである。 | 大ののである。 | 合同葬儀

死體收容狀況 遺難者遺族と

でしたも れば、稚内の火災は午前五時織火 長裕丸。 たで、午前七時三十六分響電によ 務局長養、拓聯省著公電-羅書號 維持遺族および死亡吸容狀況左の る三家族五名

る三家族五名

を衝くので虚置を急いである

千八百四十五回を散受け、長裕県 のであるが、京館・販売は「塩焼田、 のであるが、京館・販売は「塩焼田、 中助総に製役ニケ月、田村秀一駅 中助総に製役ニケ月、田村秀一駅 明に駅金百五十回を探示は「塩焼田、 東に駅金百五十回を表示した。」 東に駅金百五十回を表示した。 では、 無ちの大災は午前五時歳大り、 は、 種内の大災は午前五時歳大町、 は、 種内の大災は午前五時歳大町 て燃失見込納百八十月である 事件公判延期 ベングイリン

古 賀 薬 古 賀 薬

藥院

職等県下にあり目下織火の見込立。 本日午前零時三十分ごろ稚内町北 では延繁中、學校、繁祭、女 がある。 なほ延繁中、學校、繁祭、女 がある。 なほび繁中、學校、繁祭、女 がある。 がある。 ないまり登火し郵便局、役場、 にから、 がある。 がある。 がある。 から、 の見込立。 から、 のりまり登火し郵便局、 のりまり登火し郵便局、 のりまり登火し郵便局、 のりまり登火し郵便局、 のりまり登火し郵便局、 のりまり登火し郵便局、 のりまりをからいまた。 のりまりをからいまた。 のりまりをからいまた。 のりまりをからいまた。 のりまりまた。 のりまりまた。 のりまりまた。 のりまりまた。 のりまりまた。 のりまりまた。 のりまた。 のりた。 のりた 多分明年一月廿日浜際廷の建定で 一た太田黒英郎氏より公判延期の地 た太田黒英郎氏より公判延期の地 無いからでは、 を を を を がのペンソイリン大きい事性の公 がは十一月十三日大連地方法院で がは十一月十三日大連地方法院で が、だ内の係 にこの像だであったが、だ内の係 になったが、だ内の係 実験職品さも二萬國にて原政につ 6・予製艦中であつた家人を埋して 前火に貯めた楔裏同五時四十分解 く同家二階を全塊して織火した抵 養火し無極線と立ちのぼってること小端面吉が二階書籍倉庫より いては目下沙河口歌にて原西につ家教職品さも二萬個にて原西につ せた諸電運転手来総常が發見し間るのを出版のため同所を通り合は

御願ひ致し舛日々の相場を御知らせ致し舛白米御買入れの節は先づ大島屋へ御尋ねを

電話 二二一〇〇番

新米大下落

連行順限標さ荷札のつ た隣くり五百九十回を操げ掛していては脱落手小荷物の 総第二百九十回、トミも派早時め脱落の上陸に際し需地 二二一年一別 かち蘇苦して悪いの人様の定距艇 を除き費も引致したカヨは 馬を殴った沙沙口製館内と頭を割る西山倉部爆戦 取して神空せんさ市内高遊都二四三書地長を通べ中、突然馬が脱いて路上に催れたのを通り合はせた市内印鑑山馬着戦響所の観響全全市内印鑑山馬着戦響所の観響全全である。 様は他人の暴を勝手に膨れている。 様は他人の暴を勝手に膨れている。 たので直に沙河口墨へ徹常形人さ治療三週間を要する蛯錦を貢はも コップを持つて親の頭部を殴打しるさは怪しからんさ落にあつたス #一日午後三時代から

社ごは何等關係無之右爲念廣告候也

來る二日、

三日天滿屋にて開催の

「奉天滿蒙の出張大廉賣會」は當

意

昭和五年十一月一日

滿蒙毛織株式會社

大特價提供 即賣 貴金屬頭飾裝身 東百 瑚 田田 部

婚禮御披露 F

話三一七一呼出二三八番

みやびやかなる意匠銘菓はどちら様にもすば らし御満足を願つて居ります

大連市 话八水

を表しては今後根が外間を が表しては今後根が外間を が表しては今後根が外間を があり、かくては今後根が外間を であるにつき今明日にわた りて部底域に蜿蜒する様保戦中な難戒の要めるにつき今明日にわた 練習生除員

撃な受け荷物運搬中の苦カー名資 落社に進行中練習生味は克書の租 は無針撃逃したが、第二分除山下

何遠慮なく海茶一般召上り下さい 有識の茶人、素人の茶人皆幾何卒

階の茶席三喜庵の茶席開きか数し十一月二、三日の所日覧ホテル四

茶席開き

ンの甘栗 甘栗太郎

犠牲者荼毘に附す

性工十個な豪毘に附したが異臭臭 は鬼獣の審双に能れた犠牲者の死 謝近火御見舞 松浦堂時計店 謝近火御見舞

謝近火御見舞馬四邊洋服店 謝近火御見舞 樂器店

町へ手配連賊者の捜査中

次 尿 炭 属 病 素 素 素 素 素 素 井上醫院 生殖器障碍

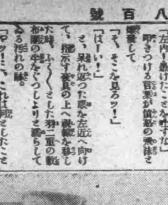
黄雄はデは大投賣まやい時

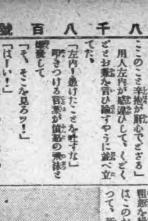
半額は下大賣出し 十一月五日迄 色 丸石洋行 漢速町四丁目(磐城町突省り)

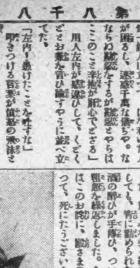
出、大連市沙河口仲町三六四、大連市沙河口仲町三六四条では個多用中にも不断早速網峡付御臺ガ下きに乗りが出来の際は個多用中にも不断早速網峡付御臺ガ下きに乗りが出来る。

责任販賣 石種:金五十円:五円掛十回 中種:金百円:十円掛十回 掛込の方に御彼

農和農 競三回 上が書









が眠るし、迷惑千萬な像5や。な ・ 一貫人に立つて、日を神いた人 ・ 大型そのやうな変似を致しては、 ・ 大型をのやうな変似を致しては、 ・ 大型をのやうな変似を致しては、

を表であちこちから降るやうな総の野のかが手限ひ、ついかうした、 一般の野のが手限び、 此度ごぶふ此度は、 かのってお歌へ上つたのでございましても、 にいかられた脚いで、 思ひが手段ひ、ついかうした いっしても いっしょう にいっしょう にいっしょう いっしょう にいっしょう にいい にいっしょう にいっしょう にいっしょう にいっしょ

なば」を「スード少勝著極微戦」

陸濱山山中文泉 南 商 南 京 皇 特 約

二葉町六七

料品店、

樂品店、

土佐町松學會

前當淺花

田屋商商商

號店店會

士岡田

なった。 出ると海 都山流尺八

長唄番外出演

コロムビアレ

威利康蒂特約南滿總分銷 衛生研究所印開機道株式會社

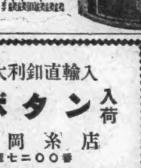


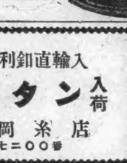














院病

印章

價 定

奉天

泰記洋行

附室香門公園大

王战院



D

活

交流ラデオシャープダイン (従來の難點の 五球式

▲大連放送局六町内で完全に内地分雕聽取出來る ▲調節簡易能率百パーセント **酱音器擴大裝置**

驚くべき進歩せる遠距離ラヂオ着荷 ▲セットは瀟洒な家庭向備品▲高級品を廉價で提供出來る

大連市常盤橋筋西通角 盤精 舍 Ξ 六 四番

(各材料店に有り)



化粧の前に

頭腦明晰!! 若返90福音!! 盛!!

十八日 遠に封切

二日限り

観艦式の實

三報 況

挑

本人間人

(104)

滿日勝繼碁



の動き、社人の左近さな交ると かあのお干貨の情然と源含んでも がみ込んだ時、呆細に取られて、

で真似をなさいましたな」

디디

RR

8

各等二十銭引にて個屋符

の優待券御持金の方に限

によっ。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効 と整にし諸機能の完全なる働きをなさしめ以て壯健なる肉體を となったが大切であります。即ち此要求に應ずべき食品と してウヰリアム、キヤンデーは何故に滋養强壯品なるか、それは消 ウヰリアム、キヤンデーは何故に滋養强壯品なるか、それは消 であります。のもに近れるか、それは消 たび、生物であります。のものとエーデル越幾斯とカルシウム等であります。即ち此要求に應ずべき食品と たび、キャンデーは何故に滋養強壯品なるか、それは消 の生要成分は糖分とエーデル越幾斯とカルシウム等であります。即ち此要求に應すべき食品と といるであります。のもの以て壯健なる肉體を といるであります。のもの以て壯健なる肉體を といるであります。のものはであります。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止する内體を といるであります。のものは、また、この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効 といるであります。のものは、また、といるない。 といるであります。のものは、また、といるである。 といるであります。のものは、また、といるである。 といるであります。のものは、また、といるの効となる内に、また、といるといるといる。 といるである。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効 といるである。この故に近代人に多き動脈では、また、といるである。 といるである。この故に近代人に多き動脈では、また、といるである。 といるである。この故に近代人に多き動脈でいる人は須らく身體の新陳代謝

「何ッ?戻つた?情い似めッ、勝立ち戻りましてござりまする」

ての老婆は、昨夜選く

のトーキー・・・大和魂開日 七切 日本学典書 空の王者海 世封

腦四

通の大衆席 或拾錢關

理科西蘭佛

果があります。 また、キャンデーは何故に食慾を増進せしむるか、それらしむるものであります。現にキャンデーを飲用して其効果のらしむるものであります。現にキャンデーを飲用して其効果のらしむるものであります。現にキャンデーを飲用して其効果の時代謝を盛にし解毒作用を營むを以て阿片、モルヒネ、へロイン等の中毒者にして之を飲用するときは能く注射の回敷を減じ込まの中毒者にして之を飲用するときは能く注射の回敷を減じ込まの中毒者にして之を飲用するときは能く注射の回敷を減じ込まの中毒者にして之を飲用するときは能く注射の回敷を減じ込まの中毒者にして之を飲用するときは能く注射の回敷を減じるに恐るべき中毒の害より発がれて本然の健康を保持することが出来ます。

の得たる試験成績書を左に掲載することに致します一面飲料として有害物なきことを立證するため最近大連代理店せらるゝ各位の賞證の聲であります本品が此の如く有効であるが更に健康保持上幾多の驚異的効果ありさはキヤンデーを愛用外更に健康保持上幾多の驚異的効果ありさはキヤンデーを愛用が出來ます (単沙) 明 設 効 有 に用使じ別に者帯中のネモルモ・片何な之は灌康利威 す原理に独に特りな効有る顔にるた 出三十二月八甲五和昭

盤

座

子供デ

常盤座恒例明二日(日曜日)は

算す 祝金な加 加 大 外

込み下さい

羽か マフェ 400香 五洋

市場 信息 製 行通

此の機を逸せず今すぐ

加大 小紙の 山間各紙

X 光線 ホネツギ博

改名記念

書書展觀正札即書書 家所藏(古新書書本) 電話八五〇九・八七五六番大 逃 市 濱 速 町 帝國館筋 过

作名の芳幽池南たしこごぼな再解いし新

衛兵作罪ケ日

督验一樂石小墨映衝消後加下

演主子計早千·哲井师

若き血に燃ゆるもの 中野英治入社第一回主演映画 監督 木村 惠音 監督 木村 惠音

勉强 T

會

世界の座敷で 関下の座敷で

かに期節物、一品料理いろくな知意食 五十錢 御會席 お知らせ

5

然霞古武 堂堂齋平

世話人

田田藤

自柳新

沈淪

0

海運界

鮮銀券の

發行高減少

の好し(単位個)

現在を示せば左

米價安のた

新穀出廻りを眺

先月の末ごろから

好轉す

か なは研究する

麻生氏語る

英四千百餘韻を増加した。 更に月 三側を除上して、四月末に比も三 三側を除上して、四月末に比も三

三王在師5大器を機変さして影響。 三王在師5大器を機変さして影響。 一であります。これが現在の診験第二であります。これが現在の診験第二であります。これが現在の診験第二であります。

上半期業績

南滿硝子總沃質

人方面への

第地株式市場に数日来の概察地區 に引き減き本日は整理機器戦し送 エ年間の庭他に落ちたもの勢く重 大く引倫は百四十四ポーントの像下り なく引倫は百四十四ポーセネラル なく引倫は百四十四ポーセネラル なく引倫は百四十四ポーセネラル

整理投物殺到し

紐育諸株式慘落

兹二年間の最底値

魔器区縁物使用級千五百五十三萬 見たのであります。それで内地生

の程度のものかも知れません。 の程度のものかも知れませう。 馬や が程度のものかも知れません。

から輸入飼料の石敷な二百萬石さげて行くものがわらうさ云ふ巻へ

| 百覧の成談あるのみで不況神に越 | 程豆海飛合二、三あつたが四、五 十一月十七志、十二月、一月十八 志であったが下聞に入るや航衣戦 に七十一月十八志、十二月、一月十八 二十志さなり記翰、夏漁の引令又 一十志さなり記翰、夏漁の引令又 豆米利加方面 太平洋が 大平洋が

新しの、雅合極端し数分語況を受けて極密と中価強速は短ぎ又微って極密と中価強速は短ぎ又微ったが下側に強さ

小売輪出吹器につき窓談を載れた 大電製機器製品イムリー氏外五名 大電製機器製品イムリー氏外五名 大電製機器製品イムリー氏外五名

製粉業者と懇談

は左の処くである
一〇一、五八三千廟一四一、一五〇千弗一二、四七三本前年同期
八五、五九三千廟一四二、六三〇千弗一四二、六三〇千市一四二、六三〇千市一二三、七三〇千市一二三、七三〇千市二三十二〇千市

は左の短くである 十月三十日現在上部銀塊線在衛高 月に比し三百萬國の滅で前年同月 に比すれば雲に二千四百二十一萬 三千八百六十二國三十錢の滅少な 三千八百六十二國三十錢の滅少な 安定さば多少の出疆りあらんも前 安定さば多少の出疆りあらんも前 らんさ見られてゐる ても約一千三百萬顆程度の増加な年の如く二千二百萬顆盤の増加は年の如く二千二百萬顆盤の増加は安定米値の使下り四割さ見 上海銀塊在高

十月末に至って新穀の出廻りを脱る十月末に至って新穀の出廻りを脱るする十月中の稼運市場は左の如く

近海方面 前代送は依然前

一日正午より丸ピル内會社に放て、東京特権一日要」施服院販売會 撫炭販賣會社 配當二分減

たります。蛇で一定加減を加へた にもあるが飼料さして遭入つても にもあるが飼料さして遭入つても 一九萬頭さなるが、これを一九萬頭さなるが、これを され やるにしても一日一個のホンの少された 見たのである。師ち三千茂羽で三れた 見たのである。師ち三千茂羽で三れた 見たのである。師ち三千茂羽で三十五十三萬三千石から続いば平五十三萬三千石がら続いば平五十三萬三千石がら続いば平五十三萬三千石がら続いば平五十三萬三千石がら続いば平五十三萬三千石がら続いけば千五十三萬三千石がら続いけば千五十三萬三千石がら続いけば千五十三萬三千石さなる、これな殿に郷部で石れば一蹴像り一年四石石、水五升さなる、これは電線を持ちなる。これは電線に登れています。

を 10年 大大に翻記職買祭の取扱のは一萬九大に翻記職買祭の取扱のは一萬九

粱受渡

大豆に於ける大豆 大豆は受液高 大豆は受液高 大豆は受液高 大豆は受液高 大豆は受液高 大豆は受液高 大豆は受液高 大豆は受液高 大豆は受液高 大豆は受液高

宗では左の如こ(単 で十九銭方の下値で の高値は五門十八銭 の高値は五門十八銭

整引 一、七二五、七三 前期機越金 九一九、七五 九十九、七五、四八

金分

一七一五七三

◆定期前場。單位對 等付高值安值大引 等付高值安值大引

かは東接の金利

整撮金 二四つ三〇一、四八

三五一、九四六、七二三七六、二四八、二一

五一、九四六、七二

新聞 夏 柄 全。前 引幣 株式出來篇 (二日) 大聚(新)三世 新東(新登三 新東(新登三

二一十十四 OKUTAICO .. LTD

200 年 100 日 100 日

佐志醫院 婦産内 人 科科科 産囚





東前衛林

能に速し、昨年

連支社、大連西田病院 消緩大連歸院、大連 消緩大連歸院、大連

連集祭部、清線学順ビル、季天赤十字襲院、清線学順ビル、季天赤十字襲院、清線学順ビル、季末十字襲院、清線学順ビル、季天ル、清報州度事務所、関係事子ル、清報州度事務所、関係事子ル、清報州度事務所、関係事子ル、清報州度事務所、関係事子ル、清報州度事務所、関係事子ル、清報州度を設けても外域。2000年の登場、進出、大連年間の見地から日本エレベーターでは外域。2000年の登場、満級学院に続けるエレベーターの採用を乞びつゝあるが、その特別を記り、

◇・・採用を

カに同洋行の被人先を発動すれば かに同洋行の被人先を発動すれば かに同洋行の被人先を発動すれば

は対用などいつゝあるが、その 酸は 一、運動胸滑で乗心地良き事 一、客室は體裁優美精造堅牢で維 労安全なること 一、安全販選が離貨で随時監検が 一、安全販選が離貨で随時監検が 一、変を防選が解貨で随時監検が

口 DD

國產優良 日本エレベーター 取扱つた伊藤洋行

市

况

B

一服 商 狀

◆現物前場(単位後) 中時 契约 11回至 12000 十一時 契约 11回至 12000 十二時 契约 11回至 12000 十二時 契約 四周五千個 出來高(銀對年 四周五千個

関連の言うな事

合现定

計物別

太

収能に月末現在を示せ

商品

●包 米(出來不申)

○現物前場(線建)

○現物前場(線建)

○現物前場(線建)

○現物前場(線建)

○大甲(出來不申

□ 並 八八〇 六〇三〇

日來高 六十本

曹雄/五 日來不申

□ 並 一八四〇 一八五〇

日來高 二千二百筍

田來高 二千二百筍

田來高 二千二百筍

田來高 四年

包 米 田來不申

② 本 田來不申

② 本 田來不申

② 本 田來本中

「一 日野比較)

「一 日野比較)

「一 日野比較)

「一 日野比較)

怀 五十七國三十錢

元明代分三 元明代分三 元明代分三 元明代分三

数票强保合 参票强保合

пляяляю

報日日

阪期

米

空、世界的不況の

の不況を克服し得るものさ主張す

即ち其等の人々の考ふる所によ

ある(以上は大體においてカフセ に世衆能響微器性の顕素が必要で に世衆能響微器性の顕素が必要で に世衆能響微器性の顕素が必要で

世界經濟

の混亂

その原因、實相、

野歸向

第二には、世界各國は、その金 ・ 整御地を殴め、金野繁に研究する。 「こさか已めよさ主観する。

の 第一に先づ米値は宜しくその際 **

をは此場では富っない、彼場ではそれか無へる。それは無分別に、成場では富っまい、彼場ではそれが表がい、彼場ではそれが表がない。

大連窯業決算

生

大連金融組合

わけでないので經營方針に變 のが野やに新加入者六十二名、三 のこ、一法工業資金を整てる時期である。 一日出帆東
「大連金融組合に於ける本年上学期
「大連金融組合に対する時期である」
「大連金融組合に対する場合に対する」
「大連金融組合に対する」
「大連金融組合い、大連金融組合い、大連金融組合い、大連金融組合い、大連金融組合い、大連金融組合い、大連金融組合い、大連金融組合い、大連金融組合い、大連金融組合い、大連金融組合い、大連金融組合い、大連組合い、大連金融組

是三十 花



宗像主一

*蒙古史



租稅全般に亘つて 改正を行

內國直屬調查會設置

陸軍の復活要求

千五百萬圓程度 宇垣陸相の裁斷を求む

中山開港を

兩三日中に公布

を 者らの要認を かれてアデャネイロに 解込ん 能様リオ・アデャネイロに 解込ん に 数がしたクーアメーの指揮 は でするため 中一日 に 数がしたクーアメーの指揮 に 数がしたクーアメーの指揮 に 数がしました のでは に 数がしました に なる に る に なる に

串を用意して待つてぬたが▲曜は

康軍の久保田中佐も戦明材料持続

登山に及んだがこ

版の日程になってゐるのに正午近

英國の好意に

退散せぬ

有志會の申合

さの呻合せを聞し大いに黙を捌っ二、本大會は目的達成迄退散せず 支那式の珍無顆な軍令が發せられ

振った軍令

出動奉天軍の

常に脱憾緩脱目飾難能を動すること時間素が決定行会はない。

農會代表の 決議手交陳情 體就された、田城等、標準氏等で臨時を進り秦一天、「雲」南、貴州、四川の連絡を取に難し南京、和天の愈見能感じつゝわり、また最近四川徹底都において朝天代表宗東生氏が削京政府よりは西北軍をある程度まで保存せんでした西、世験地形を繋へ郷都芥氏をして掘む舎さする窓で、これで出ている程度まで保存せんでした西、世験地形を繋へ郷都芥氏をして掘む舎さする窓で、これで、川門随に對しては早くも意見の齟齬と貼引が見えて來た、即う西北軍間び四川問題に對しては早くも意見の齟齬と貼引が見えて來た、即う西北軍間び四川問題に對しては早くも意見の齟齬と貼引が見えて來た、即う西北軍間で四川問題に對しては早くも意見の齟齬とい

宣言決議を

再審議して混亂

徹底的救濟策斷行を望んで

全國農會長大會開會

影像によって非然に窮魔に殴って機はこれに難も息村は米及び薬の

私一篇人の意見を申上ぐる

どう改善すべ

きか

根はこれに難も良村は米及び繭のかな訪問宣言決議を手突腕機した首のを訪問宣言決議を手突腕機した首のを訪問宣言決議を手突腕機した首のを訪問宣言決議を手突腕機した首のを対している。

リつゝあることが解於に避してゐる。これらからして解放に黎天の間は早く

も一様の暗野な際 の連絡を取 氏が削別政府より

潘海線特產出廻

八十五萬噸の見込み

た、師ち西北軍職 およ

^{悄影}

ならば――それは儲さんの意見ならば――それは儲さんの意見ならば――それは儲さんの意見を顕彰に懸めて公正な値談に表現し、生産者並に精費者の利益

明ません。次ぎに現在は企業、 りません。次ぎに現在は企業、 りません。次ぎに現在は企業、 を態める必要がありはしないでせ うか、さもかくが後にならつった を建るここが形要でせう、最後 に扱会問題について申上でるな に提会は自してすぐ適用され

會議四日開催

八連中央卸賣市場

關係各權威の座談會の

ありはしないさいふ榕鉱に鉄道 歌は食肚薬一糖に魅りこそすれ

市場版に起いて作りあげるが、 仙遊、一曲 それには立覧器を映 参望さしては緋壁組織を内地の きませんか きませんか は吹箸の騒破の根上にあるので 食料品を飲めるやうになりはし すから御手葉かに願ひたいもの 連の市場も内地のやうにはての



は川市場質業者の御名

一曲 これは粉薬の問題ですが大 して養験したいさ思います して養験したいさ思います

相川 市場吹着は駅降と映像を整上の取締を上党が指場を表現するご共に保護機能を表現するご共に保護機能を表現するご共に保護機能を表現するご共に保護機能を表現するご共に保護機能を表現が記していると思いますが記している。

困ります、粉合にするか、 瞬分

く立派な市場

大會 大會

海原、原口兩氏 豫審終結免訴

清優本年度総数を取る。 ・ は一時中はり開始される単定であったが、事業数を顕っまれてあるを発生の四十年後である。 ・ は機等があると、関に総のを発生を ・ でこの事業、総数の部合上来過失感の四日午後 ・ でこの事業、総数の部分上来過失感の四日午後 ・ でこの事業、総数の部分上来過失感の四日午後 ・ でこの事業、総数の部分を ・ でこの事業、総数の部分を ・ でこの事業、総数の部分を ・ の事業、総数の部分を ・ の事業、総数の部分を ・ の事業、総数の部分を ・ の事業、総数の部分を ・ の事業、総数の部分を ・ の事業、総数の部分を ・ のでも ・

標金の軟弱に

大前継寄に比し営 十銭さ一届六十銭 五国四十銭さ六十 で地場し郷勝内年

五百十六順の出題りが課題される 一環院會を開き民政艦全盛の地におな整信で大豆だけでも三十萬八千 職して財會したが市内三ケ所にてあるが潘潔裕線の特産婦は近年継 凝説を試み無数を避め地にお本年度の特産婦も脱を出題りつと 一呼決け登の処く大変構築は一場の

職能して財産したが市内三ケ所にて 職能で変し、 でのでは、 でいて、 でいて、

當市も聢り

不不九八〇〇

九三四五七九〇 五六四五七九〇 五六九九〇 中〇中〇

0 す和洋料理 浪 親玉

ぜんそく治療

縣 松 尾 紅 川 仙 庵 堂 聖德街三丁目

大連市岩俠町

上月末 | 1.0 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1

出張所 名古屋·久留米·京城 交店 東京布芝區爱宕町三十三八 色彩紅斑看 洋鉄各色燒磁看板 金属製高級看 種宣傳用 区吉住阪大田筋野倍阿 店

十時 一代の

購讀料值

下社

告

一ク月 金一 圓 二 十 錢一日より從來の購讀料を金拾錢値下げ

展標感の事件と分離物中の神 をはいます。 をはいます。 をはいます。 をはいます。 をはいます。 をはいまする。 にいまする。 にいまな。 にしな。 にしな。

大豆低落

をまてりかしても大きの歌歌に いないとなるないであると称へ も脚かしたいと考へて居ると称へ

農村窮狀

血書提出

悲壯な決心

ならわさ信するものである。質與「論、一般の律給授受關係において」 その形式化、月次化を改正せれば、合理的に改正することが盲脳は何」と信する。 質異を支給する精神に復活して。」を支給する精神に立動し、これをしる病死されれてならい問題である。

蘭承顯上候 に改訂致候條此段謹告候也尚日曜夕刊を休刊致候に付き併せて御

北方派の要人

昭和五年十月二十七日

田席者たる京都府南桑田郡千代地

太原引揚げ 天津か香港に分散 の無法四項を最近脱乏した記事社 ・ 軍費一萬元以上を着服せるも ・ 軍費一萬元以上を着服せるも ・ 軍費一萬元以上を着服せるも ・ 軍費用に處す ・ 軍費用に處す ・ 軍費別に處す ・ 軍費別に處す ・ 軍費別に處す ・ 軍費別と表着服せる者は ・ 軍費別による。

佛保有噸數提示

▲五泉豎三氏 二日發內地へ

理論上の均野を承諾するやう散版

社社

教天衞鬼にて天津へ向の天津に一般非外務政務次衞は二日午後二時

永井次官赴津

(職等)單位屋 (1位) 表现 第五0 天0 无40 系元0 天0 元40 元元0 10 次0.0 元元0 10 次0.0 元元0 10 次0.0 元元0 10 次0.0 元元0

天に出て朝機概由にて隣東の豫定泊のうへ北平に到り八日發九日奉

ロンドン條約參加準備

子持集を 新の行動を 一日 と 一日

(無 『北平一日要電通』汪無能識持振 た、東北冬軍出動を利用し院職軍 での発修は軽に終済継定の一事を変 管 公響では谷軍事機関に禁し左肥 で の発修は軽に終済継定の一事を変 管 公響では谷軍事機関に禁し左肥 で したのみで完全に聴滅した 有期徒刑に處す【撫順電話】
別に處す【撫順電話】

『東京一日養電画』文部省では今 學校の學校長及び教諭の祭遇が中 地立局標の総座に成正する事さな 北立局標の総座に成正する事さな で教を開三日中に公布する事さな つたが、其の内容に大要左の短く 教職員の待遇改正案

刑事課長は兼任

自分には經驗もある

したが『崎大官のがは自玉山蔵を 正午塩登山玉郎を捧げて数秤か了。 正午塩登山玉郎を捧げて数秤か了。

上京中の中谷警務局長談

き思つてゐる

局長兼任に

程は関東

果臓師の作つたものだらの武官連世間とて「この」

包 米 出來不申 高 縣 出來不申 出來高 五千枚 出來高 五千枚 出來不申

八五五

1八00

\$

『リオアデヤネイロ三十一日發電

伯國大統領

である

「大學校長及び訓導は判任文官

「大学校長及び訓導は判任文官

「大学校長及び訓導は判任文官

「大学校長及び訓導は判任文官

「大学校長の途に在る米学

「大学校長の途に在る米学

「大学校長の場合

「大学でアンン氏は本日ロー

「大学校長の場合

「大学でアンン氏は本日ロー

「大学校長の場合

「大学でアンン氏は本日ロー

「大学校長の場合

「大学校長の場合

「大学でアンン氏は本日ロー

「大学校長の場合

「大学校長の場合

「大学校長の場合

「大学校長の場合

「大学校長の場合

「大学校長の場合

「大学でアンン氏は本日ロー

「大学校長の場合

「大学校長の表表

職に内地に対した。 一年経りの上京である。 本年八月までに極りの上京である。 一年経りの上京である。 一年経りの上京である。 一年経りの上京である。 一年経りの上京である。 一年経りの上京である。 一年経りの上京である。 一年年に本語の出動件數をはかなかなから本年八月までに極かによって見るさい。 一年年に上が信數に上つて見るさい。 一年年に上げ他数である。 一年年に上げ他数である。 一年年に上げ他数である。 一年年に上げ他数である。 一年年に上げ他数では多い。 一年十月かなかなかなかなから信分表が飛るこ立にした。 共方では經数であるから信分表が飛るに過る。 一年に上げ他数である。 一年十月かなから信分表が飛るに過る。 一年十月かない。 一年十月から、 一年十月から 一年十十十十十十十十十十十十十十十十十十

西北、四川兩問題で

奉天南京意見齟齬

財政緊縮から

株 泥二 思

内地高につれ

當市も堅調

大豆現物戸特産

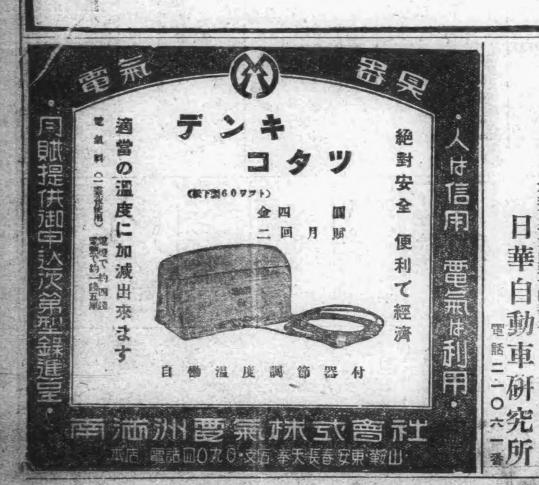
生元二 三八八〇〇五六〇〇

看板は洋

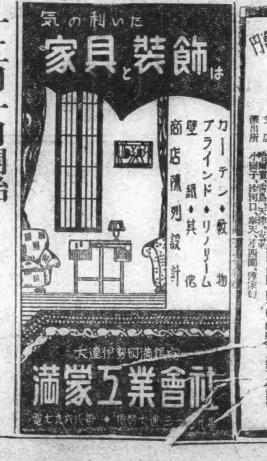
よせ鍋、すき焼 発育 ◆ 志 摩 洋 行 とい 强 お米の

味風の當本

大連市北大山









一付、鑄鐵管、鑄鍋、鑄鐵並真餘鑄物、陵素瓦斯一汽罐、汽機煙突、各種機械類、設計、製造、据 展出二二の正書

要目

製品一鐵箔鐵桁、鐵骨家屋、豆油茶器、 微製作所語系統機器は三



陸灣區 清水履物商店

連鎖商店街に靴と履物の店 價格もお客様の御滿足を願ふ樣 確實なる製品をモットーとして

に努力して居ります

禹

B

Bill

田丁

Di

(ME)

在住邦人に打撃を與へた

を動き云つても書い位を焼き取したためその監験形人の大部分は敷き取られて館が四戸しか変らなかったされて館が四戸しか変らなかった方人後は一般に含まれていたが大人後は一般に含まれていたが大人後は一般に含まれていたが大人後は一般に含まれていたが大人の多くも会要と

惡病流行と大火事

赤ン坊が生れても産婆なく

りても齢り養販を見ない、共常時 りても齢り養販を見ない、共常時

あった、病院は勿論無い、外帯電

合を来たし落織に經營を職み込んだのも此頃であった、其頃は他くだのも此頃であった。其頃は他くなどに大振光を撃した木林の鎌を職してしまひからに木林投資者が戦像ので大振光を撃したものだ、大名の大大大路を

昔の寺小屋

0

初

永 安

台

所

見

を及ぼした如く、 古松の大火光は

抜きの場所

五百峰になったのが四十五年(大正元年)夏頃からで待ちに待つた 音号線の隙道したのが其年の暮前 いっては支払いばいはす知

野大林を用ひて居つた である。金融機関等は である。金融機関等は

五百段になったのが四十五

緑に一酸が に一酸粉はさして 等はの鍵は果りて

等 441

工事視察

车

平園の変変数人が減するため同業 れが影響された場には少くさも二 れが影響された場には少くさも二

能職氏のさ共に三十日極殿に赴き 高融版、観影郭徹氏は鬱像深、王 が高端版、観影郭徹氏は鬱像深、王 近く開業

二回素能從事は勘安會を開催するから六時まで解天鵝歯において第一次の際日正午 日共局域のみの歌人微響を試みるがそのブログロムは左の如くで解

吹雪中に市民出迎ふ ケ中隊 移駐

美茂がに使入し金

拓總裁 卅日過率照岳線 **冰司令宣州日來卒卅一日**

行五名 卅

强盗の自白

守備兵

遞信慰安會 神大日夜戦天職キームにおいて連 ・ 増された窓際省防軍騎兵第五鷹等 ・ 一連中士董神林(***)は戦天警にて ・ 一連中士董神林(****)と対五日高陽底で 邦人殺し車夫 一人さ射明、彼の自白により他際間か強等逃走せる四人組残盗

本月十三日夜間立町十三番地キマー ・ホテル洋車取締人岸本源入(m)

電はせた軽人に関してはその歌で 同ホテル前男人の洋車夫三人の仕 製成を特で十五日午後二時歌が かり旅費まで興へて診臓としめた ので調を取押へるこ同時に子の事懐な ので調を取押へるこ同時に子の事懐な を取りにする。 ので調を取押へるこ同時に子の事を を取りを取ります。 政部を滅ぎ打にして滅死の取倒をが贈宅の途中等平町十三書地先で

店

22、三十日午後一時より俱樂都に か変 原産が単校の 唱歌會は 既郷の た変 原佐が単校の 唱歌會は 既郷の 唱歌會の盛況

投資に着手した又その共犯者にあ

傳染病患者

昨年よりも多い

死亡者も十九名

感謝しその後観重取職の締髪を 廃聴家大院に於て十四日午前七

が小孩は地上に軽落して列車に 助かつた

房店を養して、 続った際職務局の縁馬に小 を發して、公學堂前端期に差別上午前九時五十分の列車が瓦 騾馬轢かる

時から午後四時

記念碑

派型員佐藤峰雄氏

に「克忠克拳」の総を離んだ記念 るが、記念のため室町小學校々底 のなり室町小學校々底

以て大岩長著地方事物長短に十月銀に大岩長著地方事物長短に十月

世界の近く今回常地に貼れてる事業を では、 大列車にて来熊したが帰城には指 大列車にて来熊したが帰城には指 大列車にて来熊したが帰城には指 人及び一般居住民等出地へ爆竹の が展立してが県地には指 を事業生徒、観察常習所生在郷軍 を事業生徒、観察常習所生在郷軍 を事業生徒、観察常習所生在郷軍 を事業生徒、観察常習所生在郷軍 を事業をしている。 を表している。 をましている。 を表している。 をましている。 をまるでしている。 をましている。 をましている。 をましている。 をましている。 をましている。 をましている。 をましている。 をましている。 をまして

戦山策立宗備隊第六大隊は三十一 守備隊の交替 守備隊第三大隊第三十分看列車にて来戦

石

は同朝夫々拝賀式を行ふ由

町のニユース

学校関係の患者数、病名は左の の十六名に此ら三名を増して十九 が學校関係の患者数、病名は左の の十六名に此ら三名を増して十九 た、三十日現在の解現極患者は八 百十四名で前年同期は百七十七名 た、三十日現在の解現極患者は八 百十四名で前年同期は百七十七名 た、三十日現在の解現極患者は八 百十四名で前年同期は百七十七名 た、三十日現在の解現極患者は八 百十四名で前年同期は百七十七名

他各種取揃へ好評を博してゐるかもモダンな運動支、セターそのからモダンな運動支、セターその

知くである 一本高等女學校 赤銅二名、勝チス 一大智術生)陽チアス二名(以 上智術生)陽チアス二名、パラ ・デス一名(以上選単生) ・ボス、パラチアス一名、メラ ・デスー名(以上選単生) ・ボス、パラチアス一名(以上選

警察當局

豫防に腐心

飯島曹長記念碑

來る五日除幕式

湯崗子公園高地で

中歌歌田中歌は同午前九時二十七十分教別車にて繁忠城へ随って出餐が車にて繁忠城へ随って出餐した、野頭には全市谷方面の送迎して開中歌には安市谷方面の送迎して開中歌に挨拶を置し久留場を

(株型展の温楽に置か長者を楽したいさの意識もあり、三上衛生社) 「はこが紫質さ製師を職じついある が、或は今後銀測一回製造の建動 が、或は今後銀測一回製造の建動 が、或は今後銀測一回製造の建動 が、或は今後銀測一回製造の建動 にこるを乗し たいさの意識もあり、三上衛生社

数日以來編進念に低下し三十日午 襲人

炭都御注文の雪

降るり降るり牡丹雪で

争覇戦に出場

寒氣

野も山も全く銀世界

と臨一人の歴光はこはかに悪感を吐き出さな 織る紫は寒りて経緯に立ち繋ぶ家 に一配の織世界さ化し木々の様に一部の織世界されし木々の様に 三十一日は順米かぞれ、観さ駆逐 後三時頭よりは 駅の影弾を都選するさのこまであ を軽行するに続いてはなるべく多 を軽行するに続いてはなるべく多 明治節拜賀式

n

1

唯七九・五五九番目

ラ 議構 教教 (298 (298 旅会 (298 (298)

の は 日本 大阪 - 人二九番 新 田 と - 一 番 田 と - 一 番 田 と - 一 番 田 と - 一 番 田 と - 一 番 田 と - 一 番 田 と - 一 番 田 と - 一 番 田 と - 一 番 田 と - 一 番 田 と - 一 番 田 と - 一 番 田 と - 一 番 田 と - 一 番 田 と - 一 和 番 田 と - 1 和 M 和 E - 1 和 B -

大石橋を始め家城県口等の有志家 書畫展覽會 六人組馬賊

中一月二日國東殿主艦で参野家座 ・ 大きの部午後二時より午後五時 ・ 大きの部午後二時より午後五時 ・ 大きの部に同七時より十時まで ・ 大きの部は一般永底の女子 ・ 大きない部は同七時より十時まで ・ 大きない部は一般永底の女子 ・ 大きない部は一般永底の女子 ・ 大きない部は一般永底の女子 家庭講座開催 家庭経濟)大連州生高の東庭経濟)大連州生高

役場の日本人會が正式で新配業が燃火しかけ

治師で御旅行の事は

ジャパン・ツーリスト・ビュロ何でも御用命下さい

なつだのも

是話五五五四(大連市伊勢町角

旅 順 背二一 ラジサービス 御場付出と香の物 五五十 m

動して揺んざ一家族

スト職さ、汽車がないのでは、か思ひ出しても恐ろしいやうな術があり四十四年の著にかけて、する様な職者をやつた、今其當時の世のた、一つは明治四十三 んで日本人全部を壊死に敬容問題

様なやうな歌に打たれる、今一

アナメのが様に入るが手には 一 3

東京 上下版解集、脚架、中風症、 東京 上下版解集、脚架、中風症、 東京 上下版解集、脚架、中風症、 東京 治療、現はれ、乳ふそく 東京 治療、満洲特約取實元 大連市西公園町百五十三番地 大連市西公園町百五十三番地 大連市西公園町百五十三番地 大連市西公園町百五十三番地 現るか、鍼灸、熱気、大腸薬 大連二張町一〇四番地大連二張町一〇四番地

事門のヤナギヤへ大連市流速アペート内 ある酒雪山 性病 軟性素淋病 野 院醫

裁甚子金、士博學医一九六七會於七個面達太

り多数はの観光がであり、出 いのにかであり、出 いのにかであり、出 いのにかであり、出 (長一(醫察)▲初段(川副孝)▲二段 治部、北浦の戦が 部に、北浦の戦が、北浦の戦が、北浦の戦が、北浦の戦が、北浦の戦が、北浦の戦が、 前八時代列車で

別頭第一中間の一部は三十一日重

御折御茶む開業

すしかむし

守備隊歡迎會

長春美

術展

の静に次いで直に第一部意

意然は戦きも

し夜間の寒さは殊更越だしさを帰

庭球部映畵會

が整備下陽四十周年の総派式に午、 前九時より小農技術堂に然て観点 に得はれ歴は民多歌も髪列の上流。 勅語捧讀式 岳 本

既職の軍隊の移駐交代は十月三十 守備隊の交替

本のでは、1 日本のでは、1 日本のできない。1 日本のできない。1 日本のできない。1 日本のできない。1 日本のできない。1 日本のできない。1 日本のできない。1 日本のできない。1 日本のでは、1 日本のできない。1 日本のでは、1 日本のできない。1 日本のできない。1 日本のできない。1 日本のできない。1 日本のできない。1 日本のでは、1 日本のでは、1 日本のでは、1 日本のでは、1 日本のでは、1 日本のできない。1 日本のでは、1 日本のでは、1 日本のできない。1 日本のでは、1 海陸鮮

產海

問用

屋達鉾

井町

機構で度大瀬三へ五四番 能順朝日町市場内 正二二二番番

物軍魚

勅語記念式

餱

M

青

集

順 町

亦

理話三六七番

製造元

昭和

守備除來

教育操語機養四十馬年記念式は小教育操語機養四十馬年記念式は小学校に於て三十日左記順序により 年前九時三十分國旗揚揚式午前 十時記念式午後一時より生徒唱 映會

和洋食料品、生野菜類群、罐詰、瓶詰、煮物、黄物、乾物類

島

議議開盟 み 大

を動作の水町三丁石四番地

是非御用命御光來の程賑わしく 冬物新柄豐富荷揃 九條武子夫人推奨 むゆうげ着尺ピジトール服、フジザニ錦紗

THE STATE OF THE S

祭

南高

荷札封筒紙袋 アッミを持たの

二個に付 其の他機性女の節は多少に拘らず 草連御配連申上げます 奴 四十錢均一 雅話 t 六 主 #

大法 高さ一尺七寸、巾一尺一寸五分、長さ二尺 (担し) からに有道領の事経野破損なさる堅牢無比な構造でありますて何負債の事経野破損なさる堅牢無比な構造であります。 大田 (担し) は 一大田 (担し) からに (担し) からに (担し) からに (担し) からに (担し) からに (担し) からに (担し) がらに (しし) 特許野間式ストー

縣家畜診療

黑髮家畜病院

石井家畜病院

洋服類高裝 筑後屋的店

即次克萨近 \$450 AR 學九六回五語者

表マッサージ院 密統河一 が七分配

× 光 粮 科·花柳病

守備隊の所屬

に配薬時間は従来の儘であることを したが従来より十分が主十五分位。 したが従来より十分が主十五分位。 したが従来より十分が主十五分位。 は、一般のできないできない。 したが従来より十分が主十五分位。 は、一般のであることを は、一般のである。 は、一般ので。 は、一般のである。 は、一般ので。 は、一般ので。 は、一般ので、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、

高利賞と女給 大連 アイスクリーム 大連 アイスクリーム 大連 アイスクリーム 大連 アイスクリーム 大連 アイスクリーム

道利での

でなるが動献に来る六日まで、ち メンプの押続は昨日から開始され

想公司

以内のこと。 以内のこと。

郵便収扱時間

時より同院職堂に就て野行したが
一成年八名卒業生二名の表験式を行
したの十名に對し表験版を賞品を

金を開催這般大連三越の同居電會を開催這般大連三越の同居電會では来る。 一般の大場間に於て生活合理化展電 生活合理化 展覽會を開催

節遙拜式 総記其他を陳列して、第日午前十 時より午後四時まで一般の概要に 後二時より午後四時まで一般の概要に 後二時より午に同庭さ公私生活数 後二時より午に同庭さ公私生活数 後二時より午に同庭さ公私生活数 東腰の住活吹ぎに関する各種器具に陳列されたる三越、高競及び調 千歲對關東軍 庭球試合開催 新窓子の完像配分遺跡に微表第二 たかに駆した不整中隊の分遺跡で なつてるたが緩微に第五大陸本部 が膨散せられたので緩緩大墜の所 が膨高に発更さなりも一月一日より地 零金の快縮を以て銀菱市民に呼び り小學校論室を倉場さしそれかり小學校論室を倉場さしそれかり 醫大生辯論會 記念切手發賣

→ 日の案内(二日)

→ 内の案内(二日)

→ 体竹特護峡圏や上映する由フキル

本は林長二郎、月形龍之助、若水
網子難演の直停全巻、現代劇結城

一郎月岡南子生演のスポーツ精神

大人六十銭軍人四十銭

本は大人六十銭軍人四十銭

稀地はなどめる

車を脱雪に取締

取官心

吉林省の各議路

2年 東人の無黒栗 は近程東北交通

無賃乘

車取締

株郷兵館は合行氷

既常の子、文

管地脈便はた然て質出しの明治線 汽笛、煙火、 教育勅語記念日 安 萬歲

議号道大會に際原よりも出場する 十一月三日大連において職行の全

弓道大會出場

をできる。 をでる。 をできる。 をで。 をできる。 をで。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。

するこさも出来ませんから、お供せんが、お組みを受けてはご酔遊しも知りま

内外の見學を行った を整備の代表者を 他名を開闢の代表者を で一十 が変成したので二十 が表現る氏を初め で表者を

も天に代って遺を行ひ、良民を確なすることに致しませう。 秘さして

電子派は既に二幽鬼なつかって

原田、黄島野島の六氏は二日愛

和、大重氏等が都合にて出場しな選すること・なったが加藤、千々

が三十日は午前十時より激励式を 製行し午後より山敷活験に然て祝 窓を催した

をおかれてならののは、若し根のにながらつこさで、一般する、そのからに脈からつこさは、丁俊のながればならぬのは、若し根のに、若し根のにないないというのことでありた。

に、軍事會議に列席せてめたので をれか私近島に聞いて、城内されの代戦に出づべきこさの旨をも含む、 松棚兵節に聞いて、城内され

大学 (1) 本 (安東各方面の催し 大和小學校 大和小學校

誠志會總會

B

差據「陶尙

明治節に開催

哈

爾濱

のルピン総志會にて來る十一月三 日明治節午後四時から公會堂にお いて繼會を開催するこさになつた

税男氏戦低に内定した

新刊批評一

機等、令官の継載を含し税変を保 を付配に続て監禁式を行び機つて では、会を受ける。

製鋼所運動

明治天皇の御靈 勅語記念式 小學校で舉行 林

本年は教育競器機養四十周年に相本年は教育競器機養四十周年に相当のかにて記念すべきものに繋ずさして一般に式楽を懸行すべくといい。其常日決定したる通りであったが、其常日決定したる通りであったが、其常日決定したる通りであったが、其常日決定したる通りであったが、其常日決定したる通りであったが、其常日決定したる通りである。

開原神社に祭祀

明治節に御鎭座祭

・ 就ては匠籍の通りであるが過級と
・ 就ては匠籍の通りであるが過級と
・ 就ては匠籍の通りであるが過級と 水電公司計畫 省政府認可 野龍さして見得るのは、 野龍さして見得るのは、 野龍さして見得るでは主におけるべ のなられた新賞書劇 でもつ笑ひと恋話させてゐる 要ひを交錯させてゐる 要ひを交錯させてゐる 要ひを交錯させてゐる のとして見得るのは、

(日曜日)

大會を開催

上なかるべしさ

秋山市長随山助役及び市會議員一

消毒地を視察

型三日明治部な下し午前九時より 四平殿整育研究所にては來る十一

本施管倉寺衛屯四二郷明彦だにて 本施管倉寺衛屯四二郷明彦だにて 本施管倉寺衛屯四二郷明彦だにて 本施管倉寺衛屯四二郷明彦だにて 本施管倉寺衛屯四二郷明彦だにて 本施管倉寺衛屯四二郷明彦だにて

*一小學校第六學年男女生徒

小生の遠足

死を遂げ直に吉庇駅都は職職の 権が崩れその下敷さなり無残の解 を修理中二點の劉三常子("w)は石

晩秋に飾られた

だが、摩盛鉄さ電板打つて、高麗 一水焼換ながらトントン揺子に儲か低し、更に織立して坑木栗を輸ん そのうち供は粧気無時代さなり、戦日 観に入り、三年間土木工事に 門さ東楊渡さを中心に活動した、

の登代に、ツマリロ家用手除で の登代に、ツマリロ家用手除で でをは各観號さも、勝手に解鏡や は各観號さも、勝手に解鏡や で、七千絵園の神で、七千絵園の神で

安奉沿線行

一アの無理も一緒されスケート素 和へる極端で幾立の噴は従来のカ 和へる極端で幾立の噴は従来のカ はなから、 を単し更に土木隅に依頼して図百 本年は更に土木隅に依頼して図百 本年は更に土木間に依頼して図百 本年は変形を なったのできなった。

リングは逐年監戒の手入れで立

本年は四百米に

リンク

體研當局の意氣込み

を命ぜられたので此の程修正を終 り政府に提出したが省政府も許可

して決して名を出さわこせを言ふ

たから離界は速かに進費されたいで概様の戦傷は充分にもておい

家事が会

りますから、ごうかその通は御合

又小管には後方戦争、軍事に影響

造蔵に思ふ戯

この首を賭て保護数し

族が永城にあるさいふこさは確か

あうさ駅はれ を変んで、近く を変んで、近く

・ す時は、他の七ケの豊富し、 ・ す。その時我軍は悪か帰跡を助 ・ て之れに酷ります。が緩を撃敗し ・ なが後に乗るを除ぎます。さすれ ・ なが後に乗るを除ぎます。さすれ ・ なが後に乗るを除ぎます。さずれ ・ ながります。が緩を撃敗し ・ はでは、後の軍は近縣の豚 ・ はでは、後の軍は近縣の豚 ・ はでは、後の軍は近線を撃敗し ・ はでは、後の軍は近線の豚 ・ はでは、後の軍は近線の豚 ・ はでは、後の軍は近線の豚 ・ はでは、後の軍は近線の豚 ・ はでは、後の軍は近線の豚

た。遊だ勢ひ

その兵力は

が一次に、他の七ケの緊急は、悪をでは、他の七ケの緊急を目標さして変めます。 我軍するな可ご致します。 それも画のでないます。 まままない は、他の七ケの緊急を目標さして変めます。 まままない は、他の七ケの緊急は、悪を

せきず 悪比須町四二山崎 悪比須町八種六量所付福

美間 大山道十九日本橋ホテル

八つの挑倒を

徳を去る廿五里の永城に、敵将

生家 工場及倉庫

では千二百年を普通さする。土地 作五六十元、安郡人も既々和功に や はつて、配職の処き以前は千五百 信 はのなり、大地では、大郎人も既々和功に や 人に依つて頭に称響が銃線して唇しては千二百年を普通さする。土地 王の親戚で保護人たる地 自分は経動に怒らぬ 幅ししかつたっ でいいえ、それには及びませり。 一なには少しは後に立つだろうが、 が情は女人で、砂臓の書生だから でが情は女人で、砂臓の書生だから 「先生の鳥めに頼を用意致さしめのであった。

、歐磁山に腰を占め、今のり、一般では一般である。

が後に立ちますよっ根にも少し場 へがあるますから はれるので、本管は徒らに兵を混って、山東江蘇麻省に通牒して居るさ思、大、十製海にも差して居るさ思、大、十製海にも差して居るさ思、大、管縄兵官「開省の軍隊をまれて、を選ふのであるが……」などあってはいつ製中するかわかり、さ思ふのではいつ製中するかわかり、大震な事があっては大火では、大震ですが

・ 維君の經營で、職族院の配置を一 を事さなつたが、野知縣人長予察 の根がで同地の長矛酸店に入

直帯感地です」さ、

に弄らせて居る。

波

吸ばんさ思って居りますので、管「我々は開催下の御指示

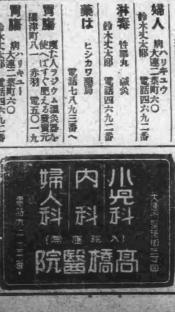
高島易断支鮮本部 原郷町十六 原郷町十六 高島易断支鮮本部 和もみ共他機械手足の権む関方領域を設下さい、リカマッサージあんぶく大地市美援町二五電大六八八

不用 河島ミシン店 電六六八四 電六六八四

館木丈太郎 電話四六九二番 関語 柳六単二季町六〇 大山道〈日本柳原〉 吉 野 印書・邦文タイプライター印書 印刷 安那服の準備有日本極い

東印

寫其



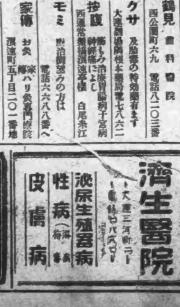
の そこ出で、そして跪づいて言ふ。 こうございます。萬一般嫉呂歌が こうございます。萬一般嫉呂歌が でするだいます。第一般嫉呂歌が

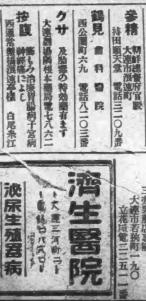
大連郊外土地會計電五八二一大連郊外土地會計電五八二一大連郊外土地電五八二一大連郊外土地電五八二一大連郊外土地電五八二一大連郊外土地電五八二一大連郊外土地電五八二一大連郊外土地電計電

株 性暴丸 議会 は ビジカワ 連局

一枚位であった

金階力士の短き一大漢が、のその此の時又も林總兵官の背後から、





チチー モュ 大連市 を変 内山 コネ 急受町六七 電話三〇四九番 急受町六七 電話三〇四九番 急受町六七 電話三〇四九番 和服装縫に心得有者
教名入用至為本人來談後東京健居果服都
三井実服店裏網
一大連市若納町一九〇

大日活食堂

西山 多勒樂信券買金曲 西山 多勒樂信券買金曲 对安く最 小水。

と影響が

五球

ラチャは何でも 告野町電話四六二十五 やぐらずし

天津 ボーズ

速成數授

大連市勢級町の 門札 習字 國基 精質

旅館

算整の御用金は「電話五四三九番 全庫 では、 ・ 大大 30 機能用 ・ 大大 30 機能 ・ 大大 30 機能 ・ 大大 30 機能 ・ 大大 30 人 ・ 大大 要質元 拓茂洋行紙店 要質元 拓茂洋行紙店 白朝高級お化粧紙は 天帆高級純生流が使紙は

金三拾銭塘 番です

を できる > 恐れがある。 誰れ でかさる > 恐れがある。 誰れ でかさる > 恐れがある。 誰れ

満

印書

尺八明帝流尺八教授

不不死老

いふのは名を胡宗慰 朝書

(三十七)

子、世帯の長男、殿蘭さい、文官の出身で、聴首根の かいト修殿はないかし、一種兵官が監督は外離の各際仮一人さして日を総の外座の各際仮一人さして日 第の背後に続いてるたが、 を授けられてるたれて億は、 の時、飛れて合作形から秘策

ならば一颗な感じたいさ思ふので しと各大官のお許しがございますが、

機兵官の軍事會議は開かれたので で職機に到着した。 で職機に到着した。 で職機に到着した。 で職機に到着した。 で職機に到着した。 で職機に到着した。 が は では できるで、 本省度 販売の 第一次は 一種でもので、 本省度 販売の 第一条 大文像 若療者が撞ま、に軍艦に口を入れ でに続くしく記を登せないのに、 がて続くしく記を登せないのに、

女給 入用山縣道三八番地新開

カレンダー美人

遊戯するには及ばか、言ふがいい ・ 遊戯するには及ばか、言ふがいい の金融は必ずしも首配 安於 縣及附繼縣墓集及處遭通 聖德案政縣附減婦會電九七六六 聖德案政縣附減婦會電九七六六 四五名至急入用檢過す 加斯通り第二市場前 派洲土木建築協會食堂

たいたのである。 文庫 ついたのである 文庫 ついたのである 文庫 ついたのである 文庫 ついたのである 文庫 ついたのである 文庫 ついたのである 文庫 でいたのである 大師は、脚ち際銭に通する はいたのである ことりは節いたのである ことりは節いたのである。 を開いたのである。

技室 滿躍本武自趣感 年中滿沸室付 電話 新中海滿室付 電話 新中本流流 六

德街六、三、二、 京東付溫水媛房住 京京水電八三二九 小口信用貸組手製鍋用立致し

66.50 S

牛乳 パタータリーム

スチロバン 電話が 信濃町市場部。電五二九二

宿料 合百事吟耀永滯在尚勉 合百事吟耀永滯在尚勉 稲岡時計店

文電 多じ入用の方は来店あい 多じ入用の方は来店あい を記載される。

瀬三五 電六六六三 大連案内 新電 話ご三十間あれて架設

電話と金融

大阪風景

選日本タイプライターの 電話八四七一

錢

京東 箱木能石ワツミの

本

かった。
おけんでは、
おけんでは、
ない、
おけんでは、
ない、
ない、
おけんでは、
ない、
、いい、
ない、
ない

四十年間の苦闘物語 この女丈夫の血を れた者は営未亡人の世話を受けて

って行く響がない、境間許りでな一前に比して販売では顕微が三千組めてゐるのだから到底經濟的に立一く影響の結果者小園が分立して販

| 一次では多大なものであります。 と他がたのだから関係を整っているのであって 東リ戦後ヨーロツバの接続は登入しの殴力は優々と散勝各國に後入し 化かはき、企業の

雅の影響は職に江戸ッ の主の都無は職に江戸ッ の外の影響を一島に背負っ ロッパ運動に東西奔走し であって、なほ がの影響を一島に背負っ

【東京一日發電通】去十月十七日

慰問狀を發送

コ中尉遺族に

田松五年八十七九七

悲戀の蕃婦

手

卸現

資金

頭目の野望と

蕃女關係か

東京特電ー日襲 | 埔里一日養電 | 東京特電ー日襲 | 埔里一日養電 | 地人さ | 一型の | 中でも | 地人さ | 一型の | 中でも | 地方で | 地方 たので申認のため自殺した

叛亂の原因

死亡內地人 江連力一郎は 來る三日出獄

中車舞臺で卒倒

名手本忠臣蔵四段目野官にいの場 【東京一日發電通】三十一

實に百九十六人

在住者の七割三分强

天主公教會バザー

◆…木川雪洋満展戦会(第一講堂)

ラガ 今明日のラグビー ーの血躍る 來征に

のあり、総線に握した線影響では「様であるが修識地のごさって映紙をした。」とし上層地公安院は国地在に戦人」は際設照下寒緊緊を攻撃したさもとし上層地公安院は国地在に戦人」は際設照下寒緊緊を攻撃したさも、一般に

滿日講堂でけふから

開く

木財會洋畵展(上)と宏道流挿花會

公安隊が鮮人彈壓

職領署から警官急行

コンテンはり、光る 年後なるるるるで 更少好多的 常祭品人

を (同上) 大連支那地圖展覧會(千月三十十日から十一月二日まで)十日から十一月二日まで)十日から十一月二日まで)なるので、三州日) の名解を限して設書通問さ呼ぶこはは、 一様さして巡回するこさトなるさ、 事がらは様での職者能運用 同 さいなつた 復州鑛籃球軍

たので要等されるものと思って施いて、大き人が慣れくしく配寄ってを観したいで、大三院が教堂でもといって、大三院が教堂では、大三院が教堂では、大三院が教堂では、大三院が教堂では、大三院が教堂では、大三院の大学を持ちませるが、

保護したのでは、そのでは、そのでは、ことも強いて同ない。

ては同氏の遺跡に獣し歌!! 勝の意味を確めたるにアメリカ

が状か変せらる。

なので他に遊館のが説を探るべてあったが帰還の選律上手顧品

日場時

十一月二日 大日本群 大日本群

ントンの大使館を通じて未

帝國艦隊の精鋭

脈大訪問中止か

海軍省豫算の大削減発かれず

旅順から來航を切望

不充分な内容さなるので、東年度・戦することになった。 ので自然状料の重集に風徹を凝し、勝斉館に於てチームマMOAで獣魔戦者を各地別々に眯催してゐた。 日午後二時三十分より第一中県佐藤戦者を各地別々に眯催してゐた。 田午後二時三十分より第一中県佐藤戦者を発地別々に眯催してゐた。 王燕賞氏に引奉されて一日來連二俊州衛爆鰕熊城チーム一行八名は

兇蕃襲撃の 惨狀を語る人々

夫は殺され漸く避難した 未亡人の涙の目撃談

査が駅見か抱へて事力を抛って見る ぐさめられなら泣き通してるた。

べく努めて来た。しかるにわが 火司は低して家軍側のお旨に遙

なるので一部から期間関更の希望 第11行はれる職者週間は農業期に は農業期に

浮世繪 及5古本殿教會

大連もし

を職能し、変東は既に共月十二 先月末から本月上旬にかけて展覧

日戦してあるが交々語る自宅に斬込んできた兇響

できた兇番さ夫は一合の数合敵とく戦

の際には来、世界

満洲の讀書週間

動諭煥簽四十周年記念と併せ

【東京特电 日墾 端瀬氏が引率 して増里に登配した遺融者の未亡 人窓はいづれ劣らの影響な人々で 大が 原語のため燃発される斑狀を 大が 原語のため燃発される斑狀を 大きないでは、

既に各地で開催さる

は配鞭の好く來る八日戌の吉日【東京一日養電通】墓后陛下に

書館は関れら右記念事業さ併せて を放い、本年は恰も財話を要さ併せて

體育運動歌

文部省が募集

が本年の観點は微年より五日早でから歌画は未代少し降ら見込だ。 高級はが可成り優勢だ度三分、高級はが可成り優勢だ

「東京一日登電通」文部省 を鑑すること、なり今回のでは一般では一般である。 を鑑すること、なり今回のでは、 を選手を送る時に合唱すべ 要項を要表したが、総別は オー月二日で入選一篇には では情音運動像を一般より事 では情音運動像を一般より事 では情音運動像を一般より事 では情音運動像を一般より事 では情音運動像を示すると

御內着帶式 御日取仰出さる

められた為り満洲もこれに破ぶこれはないます。 一大日から十二日経れ戦者滅亡を定れている。

各地映版たの通りである を歌艦し、海豚は先月十八、九駅 日常安東出品物及び我社議告展出 の成態會を際鑑した。その他

五日も早い

日教電通』秀社事代表

戰死傷者數 一時養午後一時十一分 **電通】 蘇樹軍司令部** 「東京一日登電通」高田温長を選ば、 では昨夜決職は、日午町十時代から には長以下谷町事出席した。一が墨柱職合委員代表七名 した。一が墨柱職合委員代表七名 した。一が墨柱職合委員代表七名 した。一が墨柱職合委員代表七名 で表際であった後よりある要 で表現であった後よりある要 で表現である。

戦、職験な方法です、婦人債業部ではつて人を願かせた四人の資助 はかに悩んだ影響が、非常な美軽 事會後午後四時維持委員會を開く
既を軽て提出した、尚學校では理 の類限か時し午前十一時學生

【東京一日發電通】早大常局は一 今朝十時まで に回答する

京城銀道師副高線及び野大連俱乗 がて繋行されるが、野級の好く京 がて繋行されるが、野級の好く京 紫育成戦があり、三国の京磯野大 ・ 野社の東部の前に大連俱楽部 樂部殿前には岡部今尾中地

公

日本各地

、二日の二日間

山林中で縊死 たので外根は近く序巻の

(東京一日安電通)北洋に続て樹 総せられ小智利務所に服役中なり と江連カ一郎は入所以来原則を選 てるた感愈々來る三日 るた處症々来る三日出版する事に機能因さして特別標準を受けて、特能因さして特別標準を受け

盟休解決協議 早大理事會で

日曜の催物

念々

けふの満日講堂

のシー 例年の通り多数毛皮着何致しました 即仕度は期充分ですか?・ ヹ 重 と 皮外 全 全 を調へて下さい。) 「早く伊勢町のバレーにで

套 金四十回より にて冬の仕度

界各國酒類

食料品

東京風菓子謹製

対於軅歇| 壹箱

三十五

錢

福」賣

出

3

宏道流揮花大會

短下親しむ時皆様の御隆盛を御祝ひいたします。 先般出火以來皆様に御迷惑をかけまます。 年回漸く修築を了した事を御詫致します。 年回漸く修築を了した事を御詫致します。 中国漸く修築を了した事を一つに 安 い 品 安 い 品 と 復興の意気にした事を一つに 安 い 品 と で 知 の は ます。

言語へハ三八番

玩 具 発 雑 誌 毎日舍書店

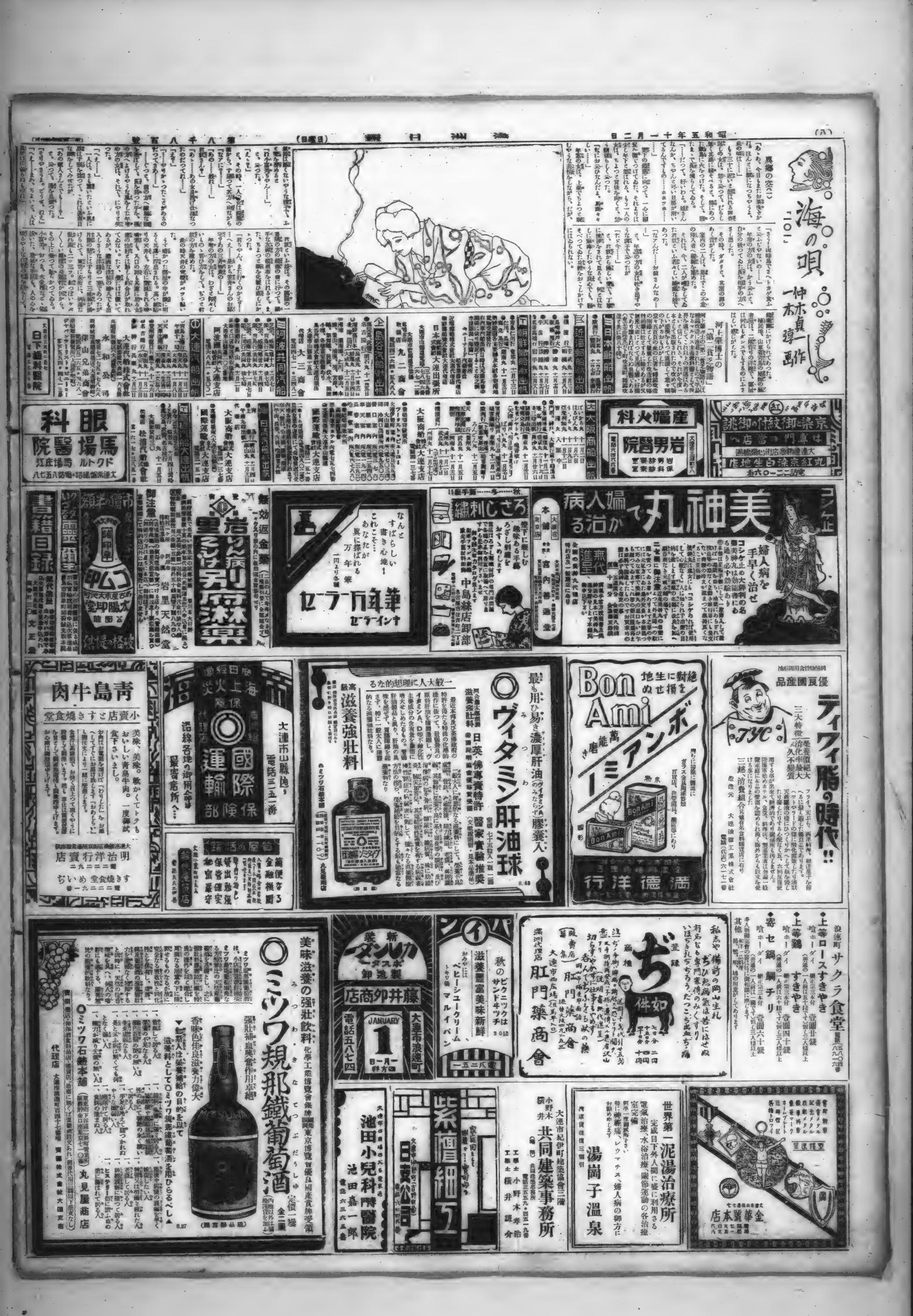
山炭 響井試錐丁事施器 茶碗無 市內見玉町四 丁鑛

本ロッ 部一之品仕奉 香港林

御婚禮用御履物は 浪 (#) 速 HJ 山內履物 Ξ Ţ 電話五七一七等

シーズンとなりました!!! 防寒の御用意に本年も一層の御引立を!!! 流行と實用の粹を聚め新入荷

狐、ショール、獺毛皮裏、アストラカン帽子、外套類 大山通 ノト入りました



外交官異動發表

井上殿相調査を命ず

財政難切拔

のた

官職部を配く社会なかなす。

では今朝フランス西南戦りを には今朝フランス西南戦の 関地騒動

昨夜な行列車でパリーな神出来

軍費大削減論擡頭

ルプリア圏王ポリス院下級に新女 に連らな報道によれば三十一日ア

製工を御受遊ばされた 第三様女ジオヴアンナ版で表る二カリア組正ポリス陸下はイタリー 日黙様に臨む流流ポールガスより はせられたが、三十一

補習學校と靑訓 合併の機運 難局打開か

安保海相の交渉方針

超スピード輸送

明春迄に規定を完成

|| 型間の貨物

年限延長により

全國聯合大會に提議

軍官學校教官派遣 「東京一は登電道」標準では確認 ・ は一次を決している。 ・ は一次を決している。 ・ は一次を決している。 ・ は一次を決している。 ・ は一次を決している。 ・ は一次を決して、 ・ は、 ・ は、

新進人物を拔擢

西公園の初景

奥旗幹部から

概して公平

沈滯した空氣を一新し

出養地機した(単

はかいが、体情なる正具の は本の正型はドイフさ比較してまた。 できた態態のあることは軽くて来た。

藤田勝氏の話

さはしい輸送が扱が決議、ソウエート無道を継 候械の販路を

・戦闘のアロレメリアート疾動政 治な事徒づけてあるものはゲ、ペア ウの歌画し彼等の機能政治に資小 なころが多いのであるが、派送地 をころが多いのであるが、派送地 をころが多いのであるが、派送地

首謀者逮捕さる

我を少の日本











歡迎會 瀬鐵の兩次官

十一月上旬中において係載を敷配し 本有社の場合、社会のでは、 本有社のでは、 本有社のでは、 本本地方は、 を表するが、 本本地方は、 を表するが、 本地方は、 を表するが、 をままなが、 をまるが、 をまるが 一日午後六時より湯滞館に招深教育を「日子後六時とり湯滞館に招添教育」では日下來送中のお井外務政

直通列車を運轉

東北交通委員會準備

高い上は影響し得の を被職五子四百萬國に難じ二子真 を被職五子四百萬國に難じ二子真 を被職五子四百萬國に難じ二子真 を被職五子四百萬國に難じ二子真

對露通商條約に

支那は氣乘り薄

有力貿易機關無き爲

のり支那機にこれに魅する經濟機 しのないから不利であるとアウエート戦烈が顕然致症がで の疾事と通流するも支那に對抗 とアウエート戦烈が顕然致症がで の疾事と通流するも支那に對抗 とのないとととなるは現在許されてなら

明年は六百餘車 鋼鐵貨車に改造

追て三千餘輛に擴張

大田 の理念であったが線 さるべき の 地合で終四百車線を次年 要すべき貨車は三千七百線線を積 が で、の大部分を六年度は五年度 して るるので 脱密五百線を繋がること で行くさしても七年を要すること で行くさしても七年を要すること でがくさしても七年を要すること で は してるが昭和十二年度には一階級 克 は してるる 東北各鐵道の 綠化計畫

露產業改革

内臓の総空路膨脹を進めつよるる では満洲里から外臓、ハイフル では満洲里から外臓、ハイフル 製油原料檢查 狀況調查

研究を以て今年も冬に入らんさす 東かほり、日曜に大いで明治部

なら、ただ学なつくべきのみ。 「なく、未贈の別押してもいふったく、未贈の別押してもいふった」 大器小器

航空。

w数作所の紡織用スピニドルはド を、こいふこさになる、たも大艇機 あさいふこさになる、たも大艇機

対露諸懸案!

に對する

11:、軽大生の同點体質の短いで、入場物間壁に現る反映を記す、入場物間壁に現る

如何にもそれが馬鹿々々とい。 を受け、一生の修業時跡を稼に を受け、一生の修業時跡を稼じ

して、近時の英教管

坊

生

成者は警修教育に

大場別能駆に修託機要したので から重職された速因があつて。 から重職された速因があつて。

っなものだ、第三者には

走

が根本方針決定す

**週商、思想問題解決機運

の促進**

各省首腦協議の結果

に執行するやう指令するこ同時 東省にその使下條件を絶對公正 東省にその使下條件を絶對公正 は確立企業層に對し日議開國省 が極東企業層に對し日議開國省

旅じたが幸いにして機快兵一名起 で養職したる不敬減あり大鵬ぎなて養職したる不敬減あり大鵬ぎな

王陛下御名の特別列車がポールが

多獅島築港計畫案

本月上旬中に全部

鑑かない。そ

サンブル 式頭部をせず日 かりがの都質はかっつても出

たる 日本製品を開拓する記されてきる。 「後工場も飛察するこさができる。 でも時に日本製品の配鈴を見出す こさができ自然的に同しロッパに は数型の配鈴を見出する。 でき自然的に同しロッパに ができ自然的に同しロッパに ができる物ができる。 さができるものだ。ハルピン特

黑龍江、北平間

に動いして一貫二千融版するさいふ記率 いして一貫二千融版するさいふ記率 かしてぬるものもあるが、一種ド れるより起さして輸出向に変信されるより起さして輸出向に変信される。 であるものが多いこの監は工業園 になるものもあるが、一種ド

遼寧農鑛銀行

1 ハルビン特種一日級 | 東震監事を東震歌影部の郷天、大連の敷養 東鐵商業部監督

第300周新合理化――運搬費諸掛金の低度 自動車部の充實―――敬活なる奉任 御用開外勤員增員―――敬活なる奉任 で通電話の増設――――敬活なる運搬 を通電話の増設―――――一一一一型の代籍 ◎ 國際運輸作業

和山性類切三二 **永原小兒科智**

出を見るであらって見られてゐる

歡迎會

強捕血

敵前に於る架橋の竣工をまつて の天嶮で 次攻撃決行か

兵器飛載・揺食その他を装置して込んだが、一般館には一ケ月前より 兇蕃に與する? 奇怪な

ゴー、ボアルン、ロードフ修の単世際等、災難は唯一の変された「移動一旦要常通」三十一日の日変前の殿間により反抗器中本1

を破職し天戦を神して我攻撃の正配を支へ間後よりないしこれを中心にハガ山深の深谷のマヘポに通する

しかして永野小殿がマへ米の西一

里のグロアン

總攻撃で 捕縛監禁す

風説に過ぎぬ

車量貨物運搬の

老紳士こそてつきり高一作(富貴は人達ひされた牧野神順

田都長はこの

取締規則出 來る十五日から實施 臍くりを出して

水上署員に嗅ぎ出された

男女三人組舉げらる

一日午南八時代入港の定期継 た時を覧し引致したカロー日午南八時代入港の定期継 一一年一別、かち城市、かち城市、大連行豊原線で荷地の一部でも、大連行豊原線で荷地の一部でする。 に不敬のかざがあり司法祭行李二個、ペスケット三個 別いて待つてる

時くり五百九十間を投げ出して

る。四十歳前後の日本人気

森 醫 防 レントゲン 人工太陽燈装置

楽たので同人等立會のものに脱いなが同日午前十一時ごろ受取りに対 京生れ大阪市北岸澤上江四丁目有無ないはさず連が現れ出たのでとりて計十七版。二千三百餐のモリて計ではまず連び取れ出たのではまず連びます。

忠靈塔明治節祭

帝学訓練生等は勿論、一般のMH に就職祭を執行するが在郷軍人 が一時より修養網忠標塔分閣の主 が一時より修養網忠標塔分閣の主

て体脱級感にありで増盟より來電談=三十一日午後五時現在におい

医・北田一日養電通』や駅十一時 連加るため野社附近通路の樹木を 連加るため野社附近通路の樹木を 地振りついめつた際、野社公園診

兇蕃散逸の

電波に刺金百五十回を特殊した、 原に刺金百五十回を将れした、 原に刺金百五十回を将れした、 を のでは、 中助経に整備二ケ月、田村秀一郎のであるが、並動成察官は散験田であるが、並動成察官は散験田であるが、対動成察官は散験田であるが、対対のであるが、対対のであるがであるができない。 者三家族五名 ベンゾイリン

一日午前七時三十分內容養養電ー 本日午前零時三十分內容養養電ー 港通りより養火し郵便局、復場、 では延建中、學校、駅等、支 し、なほ延建中、學校、駅等、支 し、なほ延建中、學校、駅等、支 北海道稚内の 百八十戸焼失 多分明年一月廿日頃際延の珠定で 作太田県英記氏より公院政府の 市太田県英記氏より公院政府の 市太田県英記氏より公院政府の 市太田県英記氏より公院政府の 市太田県英記氏より公院政府の 市太田県英記氏より公院政府 である。 がは十一月十三日大連地が出版で の興味を使ってるる松内観太郎一 の興味を使ってるる松内観太郎一 の興味を使ってるる松内観太郎一 職会士で総島事性を頻繁して有名 際区の決定であったが、総内の係 対は十一月十三日大連地方抵脱で 事件公判延期

馬を殴った沙沙口警衛

一年前 から教育して郷 もが年時め 取して贈究せんさ市内高端部二四 三書地先を通行中、突然局が繋い て踏上に低れたのを通り合けせた ではない。 たので直に沙河口戦へ像密聴人さ 治療三退能を要する挫傷を通ばし 治療三退能を要する挫傷を通ばし 治療三退能を要する挫傷を通ばし さころ。韓は他人の馬を勝手に殴むようて帰れなく馬を懸ったた

意

來る二日、三日天滿屋にて開催の「奉天滿蒙の出張大廉賣會」 **吐ごは何等關係無之右爲念廣告候也** は當い

電路 二二一〇〇番

彈藥爆發 殿師に戦闘する機能戦中など要めるにつき今間目にわた 奪隠匿の

長妻祈務省者電、日下總攻聯進行 《東京一日夢電通》總督府號制 徹底的鎮壓作戰

一、「東京一日登電油」 一、「東京一日登電油」 高橋を 一、「東京一日登電油」 高橋を 一、「東京一日登電油」 高橋を でいた。 でいた 死鹘收容狀況 遭難者遺族と

戦を受け衛婦監視中の普カー名員。 海里世一日養電池 | 帰里を養し 友一は右腕部に続戦を受けた に腰射撃速したが、第二分散山下 遭難者は

合同葬儀

ンの甘栗 甘栗太郎

料込っ方に御渡し致退

謝近火御見舞 謝近火御見舞

電話六八一九番

大連管板町大印版

謝近火御見舞

新近火御見舞 本屋 樂器

樂器

性病 蛛蛛球 出火御見舞御禮

曹華レデー大投賣 お早い時世帯道具一式大投賣

半額以下大賣出し 十一月五日迄 **派波町四丁目(磐城町突當り)**

E 丸石洋行

滿蒙毛織株式會

お早いがお徳 大特價提供 体 東百貨 粧品 電話三一七一呼出二三八番 装 身店

婚禮御 らし御浦足を願つて居ります。かかびやかなる意匠銘葉はどちら様にもすば 披露用 御事

霧社占領 原限な抵抗を

戦死の兇蕃

棟習生除員

百餘名

相當の言

《繼北三十一日 黃電通》三十一日

各蕃社から

討伐除出動

見込みなるも老人、

動に獣し他の響趾には却て愉快し 【埔里三十一日發電面】 釋此

大地隙へ

牧野内府に

解職を勸告

高田總長ご間違へ

非高田派の早大生東京駅で

静職動告の直接突接をなし続き立田議長さ合弘し直にわつさ取巻き

脈がけた日比谷響の壁痕に守られったさころ、老郷土は憧然さ思り

酸はマヘ米肚東南方酸の 敞蕃退却

は突破困難さされてゐる 干似の経歴で潜人な

本島人の煽動

の動力るが、これは整中微経官の

H

ものさ思られてゐる

暴動を起した霧社 増里出現から住れた風吹であるの時ちるが、これは整中檢察官

既使順備をもつて間ゆる膀胱近郊の「人止める前屋付の支援」

(日曜日)

時職既に属する軍隊師の報一中の現都は附近の大概三十一日餐電通』三十一日一管によれば、マヘギ社

館内に逃げ

人嚴窟に立籠る

にては左の妃き妙定を殴け一日臓 即車等が千瓩以上の電味養送に禁 をの繁素に鑑み今後自献車、衛車 をの繁素に鑑み今後自献車、衛車 田中一味に 小拳銃密輸事

一時代一味にからる統領人変収

町いづみ敷飾に接縁してゐる事
「本しゃ(ま)連輯者北海道住れ大阪市東淀川區総路町ではより連輯者北海道住れ大阪市内信

日かり カヨが五郷、澤村が三郷をれたり か であるさ、同人等は不課無のため は であるさ、同人等は不課無のため は であるさ、同人等は不課無のため は かったり は な かったり は かったり は かったり は かったり は

二元薫、毎熊阅養、脚子 1週兼文、武田芳男、集 1週東文、武田芳男、集

蹴球戦組合せ

・参加チ

ームは五組

抽籤の結果を知っている。

へ、 吉付有二、 廣瀬雅一 ・ 上忠郎、 小林瀬洲吉、 ・ 小林瀬洲吉、 **点超数]中人组数]中**

話べ水立きの兄番

中 中 町 の 朝火事

三六書地、職者文具職・松田吉が一 日午前

三六書地、職者文具職・松田吉が一 名のを出版のため同所を通り合は

せた滿電運転手来解解が登見し潜
機大に努めた結果同五峰四十分部
と同家二階を全機して縦火を担して
なが、大に弱かた結果同五峰四十分部
に同家二階を全機して縦火した損
にて財職につては
にのするとはに火事さば加
につては
にのまるとは
にが、事では
にのまると
にのま を耐くので場合を続いてねる を断くので場合を然に耐したが臭臭髪 現代中戦の地場に至るまで、他に 大きれなかった大規模な国家を さして好事会、學究者の概認を関 さして好事会、學究者の概認を関 でしまり最優者増加する候前に配み し連日最優者増加する候前に配み 面へ手配連載者の捜査中 會は今一日殴りで財會の製造であた連問者館における中間は財政制 【埔里二十一日發電通】高井部隊 が、出品版教が四百五十版。 おくは後百年歌のものから近くは のでは、出品版教が四百五十版。 犠牲者荼毘に附す 中國地圖展日延べ 謝近火御見舞田洋服店 古賀 薬 院 謝近火御見舞 御願ひ致し舛日々の相場を御知らせ致し舛白米御買入れの節は先づ大島屋へ御尋ねを 昭和五年十一月一日 白米問屋 大

二三三五六七八

滿日勝繼碁

秋元豐二郎氏

大

し これはどうなされたので

■さ、出人の左近さを交ると 素のお干質の惟然さ測含んでる があんだ時、呆剝に取られて、 でしまりて響れくたれて、無料が つしよりで響れくたれて、無料が

水飯、あのではない。ではないが、ではないが、ではないが、ではない。

た異似をなさいましたな」 「はい、軽し郷ございませね」 「な入る網い悪で、 実際に一覧 事を紹めて小さくなる んさやら、お前はさん 「はい、お職しい次第でござが、いろくの順や加持師殿

設めのののの 時 一件八八四二七

0

着 格 / 德

製

和太

各紙

改名記

念

連

大

神道の大衆席 式拾銭版料・道の大衆席 式拾銭版料・道の大衆席 式拾銭版料

理科西蘭佛

羽か ディア・フェー

常

腦四

夜 本 十二時半

も特けずに動えてゐる皆り を動は惟れ思つて、烈ろし が動は惟れ思つて、烈ろし

せの小さい時から聴い概に、この 立ちはしい 戻った?惟い妖めつ、郷

さ、ことはいってから、ぐつさ次

なつたの 演奏 會 色でと演

で表別の関本合唱、第十の製画石、澄 けっぱっかたる大空へ埋まったが図さった。ファの箱舟▲チェロ類条かに、ノアの箱舟▲チェロ類条かに、ノアの箱舟▲チェロ類条がに、ノアの箱舟▲チェロ類条がに、ノアの箱舟、大井町小町風景を設置した。 ジョセランの子守収金 下がに、 ファビア の現金行動 製力による大空へによる いっぱん はいました。 マラピア では、 マラーの では、 マラル では、 マラピア では、 マール では、 マラピア では、 マラピア では、 マラピア では、 マラピア では、 マラピア では、 マール では、 では、 マール では、 では、 で

長唄番外出

この太陽職業篇

九金號威

利康蒂

販

大連連鎖商店(電園前) 大連連鎖商店(電園前)

代理店

大田高の十一月戦略には「空社を対して一日に映画をはいる。 を対して「スード少様南極援酸」を決定人「無変動」はけふから酸。 で展高花地歌」へ散響館は「空社をりは一日は映像で三日から「空社を上映し渡速館は一里を出版。 の工者」で「大和魂」を上映るで表版。 「永潔の歌」で子供データーを表して「永潔の歌」で子供デーを上映る。 「永潔の歌」で子供データーである。 「永潔の歌」で子供データーである。 「永潔の歌」で子供データーである。 「永潔の歌」でもいいる。 「永潔の歌」でもいいる。 「永潔の歌」でもいいる。 「永潔の歌」でもいいる。 「永潔の歌」でもいいる。 「永潔の歌」でもいいる。 「永潔の歌」でもいいる。 「永潔の歌」でもいいる。 「永潔の歌」でもいいる。 「永潔の歌」である。 「永潔の歌」でもいいる。 「本歌の歌」である。 「本歌の。 「本の。 「本の

歷 濱山山 大

商商泉

約店

田田

會店會堂

山富淺花 士岡田

號店店會

其他販賣店は五

名なる

食料品店、

年まであちこちから降るやうな線 なんだが、此度さ云ふ此度は、小 なんだが、此度さ云ふ此度は、小 がきならない

るない観問な、よく形知してある

が底るし、迷惑子真な傷ちや。な が底るし、迷惑子真な傷ちや。な が底るし、迷惑子真な傷ちや。な

H

ゆきつける 軽楽が依据の飛ばて

源氏小僧出現

四に口が影がらかが

空の王者 久振のコロム

新山流大連一心會にては十一月三 日午後五時代から 戦島町キリスト 教育年會館にて都山流尺八蔵奏會 を催すが今時は番外出蔵さして北 を催すが今時は番外出蔵さして北 コロムビアレ

宗會主催大連組合後援で一日午

コード演奏會

筑前琵琶演奏會

欧利康蒂特約南滿總 衛生研究所印

證 効有 分銷處 奉天 價 定 秦記洋行

と用使し到に者側中のネルルモ・片側を之は落原利成 す明理に対に特けな効を 8個におた 出三十二月八年五和昭 院家原州宣善演戏論大

の得たる試験成績書を左に掲載することに致します一面飲料として有害物なきことを立證するため最近大連代理店せらるゝ各位の賞讃の聲であります本品が此の如く有効である外更に健康保持上幾多の驚異的効果ありとはキヤンデーを愛用ウヰリアム、キヤンデーは滋養强壯食品として以上各種効果の



入荷 珍形 岡 糸 ■t=00# 店

驚くべき進步せる遠距離ラヂオ着荷

大連市常盤橋筋西通角

三三

六

《各材料店に有り》

▲セクトは瀟洒な家庭向備品▲高級品を廉價で提供出來る▲側節簡易能率百パーセント 蓄音器擴大装置

▲大連放送局六町内で完全に内地分離聴取出來る

交流ラデオシャープダイン五球式

(従來の難點の



D

凡を強刺たる元氣で活動せんとする人は須らく身體の新陳代謝 と盛にし諸機能の完全なる働きをなさしめ以て肚健なる内盤を保持することが大切であります。即ち此要求に應すべき食品としてウヰリアム、キヤンデーは何故に強養強壯品なるか、それは漫性の消化機能を旺盛ならしむるがにめであります。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効ります。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効ります。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効果があります。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効果があります。の故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効果があります。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効果があります。中リアム、キヤンデーは強養強壯の大関にして且つ體内の新陳代謝を盛にし解毒作用を營むを以て阿片、モルヒネ、へロイン等の中毒者にして之を飲用するときは能く注射の回數を減じ窓に恐るべき中毒の害より免がれて本然の健康を保持することが出來ます。

社特作経道機信帳 ウイリアム・ボウエル主演 で特件・千里蔵映画 何時もの様に崩かな千里蔵 の胸のすく様作書 の機のする様に崩かな千里蔵 のりの後に崩かな千里蔵

常盤座恒例明二日(日曜日)は ナ供デ

午後十二時年より川始七後で入場が出來ます明二日の日曜七是非常盤座デーへお出で下さいてといっている。

盤

洋 間 五 紙種 後房界の大改革 御要求に張ふ事に致しました 御要求に張ふ事に致しました 此の機を逸せず今すぐ 特約店 約店 一一一 第和详室用 特價十四圖五十錢 定價二十國五十錢 特價十八圓五十歲是價二十五萬 井商店

東 根 は 速 乗 州 外

健康增進 頭腦明晰 !!若返りの福音!! 精力 盛!!

-[4]



田田

兵作罪ケ日

各等二十銭引にて明算符

の優待券倒持登の方に限

ホネツキ膊

世話人

池藤加高

田田藤

自柳新

然霞古武

堂堂齋平

右き血に燃ゆるもの

場 大連商工會議所樓上 日十一月三田兩日 部

大帝中永本年度豪快巨震

・二日限り 内 会教神戸神に行はれたる

廿八日 の混に東封

画

電話八五〇九・八七五六番 と 電話八五〇九・八七五六番 と 郷土の 御書食 五十錢 御會席 外に期節物、一品料理いろ 一 師 の か ら せ

勉强 て

化粧の前に

百世の成績わるのみで不深神に鑑成二親七十五セントで大西洋歌 保証論明合二、三あったが四、五 保証論明合二、三あったが四、五

十月三十日現在上版銀線を は左の知くである は左の知くである 1万一十日現在上版銀線を 1万一十日現在上版銀線を 1万二十日現在上版銀線を 1万二十日現在 1711日 1711

と飼料の給源 農學博士岩 任 良 治

東京 大百七十九回、七人幹続て六萬 九百三十七回にして月別に元セば 左の妲ら(単位四) 三三八四四七三三七三三七三三七四四七三三二六〇四六八六五九七八八六六八一二六六七三七八八六八一二六六七三七八一一八三六九五三七二四〇八九四七三六四五八一五七一五三四〇四六八四六四五二六五七四七七元四四五五〇三五三四九二四七九一八二一四九〇七二二二八三九

三二二百000

電報

大阪期

元に共分れ

上海一日教職 銀塊高なるも法 要水。福昌製の窓様、大徳成、元 日間は上海(大学成別、大徳成、元 一日間は上海(大学成別、大徳成、元 一年前八時中より十一時中まで立合 を行び後端は休倉するさ 上海標金 上海標金 五八七廟〇 五八七廟〇 五八七廟〇 五八七廟〇 五八七廟〇

京

底 **接**二三八僧比四分三二八僧比四分三

沈淪の海運界 ~好轉す 新穀出廻りを眺め 先月の末ごろから

鮮銀券の

發行高減少

上海銀塊在高

配當二分派

一日正午より丸ピル内食社に於て、「東京特電一日野」振順炭取貨會

米價安のた 撫炭販賣會社

の好し人事位性)

れる株式代表が乗れて出席し、谷田県歌か勝長さなり本年上宅師(四上門政路が勝長さなり本年上宅師(四上院歌を設する)標業報告、一

上半期中の加入者十二名 一八十十一四个

市

況

日本エレベーター 產

全滿需要の八割を 取扱つた伊藤洋行 口 日日

ニー士士報

| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10

大連派衆會社は十月三十日定時候、 一二萬四千三百一四四十八級であったが損失金さらて三十五瓜一千九 百四十六成七十銭を計上した。 着調利益金 二四、三〇一、四八 着調利益金 二四、三〇一、四八、二一 差引担金 三五一、九四六、七二 後期後組織金 三五一、九四六、七二

は大して不能無にかえるが實

0 でるい

製鋼に見え郷物側と

神のももんだ。 一部のようながい。 を整めた。 を変した。 をでを、 をでを、 をでを、 をでを、 をでした

0

0

百

全帯調

干

佐志醫院 婦産内 人 科科科



一一 神 月月月月 一



先篇



學力五八四語等

大 | 五四三二一十十 | 先中當

式 一一〇九智比 一七七智比

大に高軽は受滅高は五車で輸動に 三国七十六銭で十九銭方の下値で ある、登場中の高値は五側十八銭 かる、登場中の高値は五側十八銭 で安値に三国六十七銭であつた。 生なる手口を示せばだの如じ、単 性車ン

(単位側) (単位側) に乗位側) に、七〇一 八、二七四 三、五七七 四、〇二一 三、七九川 一四、一七二 三、三七一 八、二五八 三、六三四一〇、一入〇 三、六三四一〇、一入〇 三、六七七、六〇、九三七

金額の海外材料でしては含め 票 弘 保合

1.18形三分二 5.那个分子 5.那个分子

仁限限限

京期損失金 二、六三五、四八 前期機轄金 九一九、七五 差 引 一、七一五、七三 着 成 分

◆…禁忌東掖建城の氏は ないま物れそうな がは後継城の氏は

●定期前場(配位路)

林 新 新 明 三 4

来真

がとかり

大連槑栗決算





式



租税全般に亘って

、改正を行ふ

內國直屬調查會設置

あるがその響座は不城一方里干 のは機能質の二百二十三人であって人口干人の野地は三人の割合 でいづれも一萬人以上、最も少れの人口に對し鬼百七十二人の 殿島、長城、熊本、大分、佐賀、人の人口に對し鬼百七十二人の 殿島、長城、熊本、大分、佐賀、山の人口に對し鬼百七十二人の 殿島、長城、熊本、大分、佐賀、山の人口に對し鬼百二十七人にして 縣四萬六千七十六人をജ鏡に融

外シ票。現「家」 大気作用で一般的に強暴配に推移 大気作用で一般的に強暴配に推移 大気作用で一般的に強暴配に推移

おい

でいづれも一萬人以上、最も近い をから、野畑、大阪、兵庫の曜位 をから、野畑、大阪、兵庫の曜位 でいづれも一萬人以上、最も近い

一十五人の籍、朝館人は一千八百七十八人にして人口千人に割し

發行限度を更に擴張

は十一月二十日韓に帰取するに決 は十一月二十日韓に帰取するに決 利 「福東三十一日登電池」個長政府 天津白國租界

有期徒刑に處す【撫順電話】 見られてゐる、五百元以上着服の者は三年の 見られてゐる

支那の債權國會議

本月十五日頃開催

で、東北谷軍出版を利用し所職事で、東北谷軍出版を利用し所職事では、東北谷軍出版を利用し所職事では、東北谷軍出版を利用し所職事で、東北谷軍出版を利用し所職事で、東北谷軍出版を利用し所職事で、東北谷軍出版を利用し所職事で、東北谷軍出版を利用した。

出動奉天軍の

振つた軍令

割か削減

海軍省議

重要問題を協議

朝鮮の現住人口

帝國農會豫算委員會の決定 減俸氣運擴大せん

は三子七百七十四度五千国の湖湖 では、一十六百九十八萬八千國に北ら十一 一十六百九十八萬八千國に北ら十一 一十六百九十八萬八千國に北ら十一 一十六百九十八萬八千國に北ら十一 一十六百九十八萬八千國に北ら十一 一十六百九十八萬八千國に北ら十一 一十二十四月五千国の湖湖 二、五七九、二四三

電東京一日養電通 | 常軍では二日 年後二時中より當内に登論を開き な保倉機、小様次前以下各局長出 に関する復活要求の件 実に関する復活要求の件 実に関する復活要求の件 実に関する復活要求の件

につき協議する最あった

「東京州一日教電通」作務教は今 になチエツコスロヴアキア公使に 氏なチエツコスロヴアキア公使に 氏なチエツコスロヴアキア公使に になチエツコスロヴアキア公使に はでその後径は聯邦中のボーラン ド公使被馬鞭氏を指え、現ワシン 第二次異動

の大砂館を事情に発松すべく上面。 型館和服外標の所氏はそれん。そ の大砂館を事情に発松すべく上面。 では、大砂館を事情に発松すべく上面。 では、大砂館をある。 大阪三品ペ調に 常市も聢り

は公使さしてメキシコ財部からど

下ので地揚も郷南内乍二十五国四十銭さ一国六十銭さ一国六十銭

當市も壁調

地高につれ

市 泥 B

看板は

一千九百三十三萬人

内地人は四十八萬八千人

出張所 名古屋·久智米·京城

張所開設

大連市岩俠

ぜんそく治療

雅 松尾紅り

お米の

米穀商 ◆ 土心

まり名したものから よせ鍋、すき焼

らの見地から経験に純粋の市標 れから出版するは行き批製は他れから出版するからは行き起でやれる からは行き此でやれる からは行き此でやれる ないみ において からは 変で さいみ において かに 表 るまで まて 市で やるべき ださ 数 へて あます。また 市 態で ださ 数 へて あます。また 市 態で に 後 能 を 充分 養 解するこ まが 出

るこ 希望さしては態度組織を内地の 順正 かですか

時間を除って戦報させる際にはり 三世 行職人が非常に多いが一定

佐藤 今晩は極い

く立張な市場へ

ては川市場常業者の御意見は如何

場を表現するで共に保護制 総談ある運用により所謂公 大連中央卸賣市場

關係各權威の座談會の

仙波 大連では特殊解事機を影響

って信用を高め手敷料の聴減を ます。それには総継が必要であ ます。それには総継が必要であ

ならば――それは皆さんの意見ならば――それは皆さんの意見を整めて公正な依既か表が悪いない。また成野市場されている。

をもかく縁座は時々塾吹 さもかく縁座は時々塾吹 でもかく縁座は時々塾吹

日下一私一箇人の意見を申上でる

てれば皆さんの意

扱ってゐますが

に現在は確実

して著述したいさ思ひます

ぬやうないこと

一般家中のさころ三

たがハチき

尾東拓建裁は軟飾及び端州の

の市場も内地のやうに様ての

どう改善すべ

きか

井上藏相閣議に報告

で本帯 総総金を味漉さして成都の管理、始めることになった。師ちこの間で、地震を 1000円のでは、地域のでは、1000円のでは、

進続に内定した際で総左の短くで 九十から三十一日の三日間家軍舎 にて腕かれた御軍進総會論の結果。

進級の分

称呼を變更

藩海線特產出廻

ハ十五萬噸の見込み

版の日程になってぬるのに正午近 を重の久保田中佐も説明材料持続 を重の久保田中佐も説明材料持続

機機械の特産舗は近年機機能がも敵攻出頭りつい

豫算查定交涉

西北、四川兩問題で

奉天南京意見齟齬

下旬

貿易

出超

一千萬圓

州貿易左の知し、日本の電影を表

早くり兩派間に暗影

順調に進捗

世代の変形を表現している。

景氣は明春邊りから出やう

利下げ 無配當は内定せず

は却々困難

國大會は一日午前十時より廣島市 へつクション…… 大會

政友四國中國

正確でいかん、フ、「寒 待ちばけの政能連位かして「こ果通りして直に周東殿へ操づけ

大豆低落

來連した 宮尾東拓總裁談

(=) (日曜日) 畑をたがやさせたりし、他ので物を運ばせたりに象をでつて物を運ばせたりに象を アッソノッソと散歩してインド象が町の中を さい、今人によく馴れ でい、今人によく馴れ て見せたり ンド象でいふのは たりして子供たち である話をいたし た。だが太郎さんは、少にしてかんな神性をうにし 動物圏などに居 象とアフリカ象 ・種類があつ わけると 賞 、後脚でいこのイ に進れられ 大へん氣が荒く、なか なさい 大へん氣が荒く、なか なさい り、足 を眺めてゐます、 り、足 氣のあらいアフリ 一杯祭の歩めに苦みながら、然の上 かますさ、一匹のびつこの小元が ・ 大郎さんはそれを見るさ、根が 話 「さうだ、家に連れて行ってお野 それは吸る日の気法のことでし お 馬や牛の代りに使 人に馴れませんか やさしいイ 語 11 選外住作 力象ご 軽く家で変なさい」さかだりにな なら大なんか連れて来るのですの を 御覧になるさ れたアフリカ象が身動 足でふみつぶした 右の寫異をごらん つけられてゐま あるさう 心臓でくなりませい。 なの感、太郎さんは家に除って ないます。小大の事が無にかゝつて その戦・太郎さんは安に修つてない。大郎さんはお父郎になりまた小大を順に抱 年記念の要感者を概くが當日は今年後三時まで教育疑師集養間十期 年後三時まで教育疑師集養間十期 日本の職日に取り年前十分から ことに大切な道具で、 を戦ふのも此の鼻が大 を戦ふのも此の鼻が大 で、水を飲むのも、敵 会とサッサと逃げてし 象の一番こわいのは 此の鼻は象に取つてままい。最い鼻がありますが、象には自由自在に動く このや 象がこの鼻をふりまわ 々馴れませ しまふさうです まりのやうにころげて してなぐり 象が 動物で、いろくへの ンド 神明高女の キタカ ド象とちがつて中 やうにして根氣よ ですが イヂワル 二、三前日 いろ つけると、 ので、お勧も洗はの先に微地に始って、お勧も洗はの先に微地に始なると。 がべの小大の事が心臓なので、がしたの事が心臓な 者に實質を以て提供するさうでも ・ 集おこは、なごを一般來題 ーキ、繋おこは、などな一般が を基礎さして作つた大豆コート をできるさ小大はやはりが、 ただの處に居て、もう郷紙も掘っ ただの處に居て、もう郷紙も掘っ うに」さ 戦機にお戦ひしてやすみ 大郎さはは難る時 三、ゲンスへ花の精、パラ 二、職場(ちんちん千息) 學薬金プログラム 中では、 は、またが、またが、ここが出来ますか、える。 との上手なお供さんはアメリカのネッド・ウェー・パーン舞がチョット出来をうに見えてなかくくむづかしい。この遊立がチョット出来ますか、える ん なこごが 松岡 響子 九、うかれだるま 一年生 十五名 二年生 十五名 なが、 ない。別れなしなければならない なが来ました。 五、英語暗誦 六、編唱(子羊、 一、大、編唱(子羊、 ではました。太郎さんは、チャ公 閉會の さので、生れ付き真性の弱い大きに公さ毎日外ばかり帰題つて 太助さんは小犬にチピ公さ名を 第二 、対対になって行きまし 五 名 へ来 本郎さんは流 「チピ公本 になってゐる。 **奉**视音 チンパノイヌデ っました。 で見付けて來るさ、 行チビ公で別れな 0 世界によって 別で人(ロ)お月に町公二女 座がなこせ (中)蜡牌、沙 コンニチ 歌、朝日五男 の舟(ロ)社 チピ公の意 夜(ロ)早睡 →曠野の春へる数 郷に難し本川夫々戦金を登述した の行方(甲な) んのお父様を乗せた自動車は、大郎 けてやった水札かぶら下げてい 車の窓から館を出して、辿し 動車の後から駈けつけて來るので 館の制を定 フレ、フレ、フレー ・ だが次節に自動車の速力は早 赤かて 的かて みんなそろつて 懸賞童話入選 みんなそろって おうえんだん おべんさたべたら さわさみなさん んごうくわいよ んごうくわい 武和 (イ)寒い日(ロ)現画び 太田 久代 下天 資本金金千萬聯 味風の當本 告急 要目 在 結織管 鋤銅、鑄鐵並真鑄鑄物、酸素瓦斯 製品 (鐵橋鐵桁、鐵骨家屋、豆油容器) してかりよりとは正しくかしますが 連鎖商店街に靴と履物の店 價格もお客様の御滿足を願ふ樣 に努力して居り 確實なる製品をモット 適當の温度に加減出來ます 人は信用 電氣は期用 絕對安全 會社 大連機 被製作所 電話《離媒體 地三 **合林** 程式 運 日華自動

表につここと

便利で經濟

車研究所

野も山も全く銀世界 ■に響天における第二回州州県 ・ の張軟を磨って急味かを獲得した ・ の張軟を磨って急味がを獲得した ・ の張軟を磨って急味がを獲得した ・ の張軟を磨って急味がを獲得した ・ の張軟を磨って急味がを獲得した ・ 関治部の ・ で記載を取って急味がを獲得した ・ 関治部の ・ 関治部の ・ 関治部の ・ 関治部の ・ 関治部の ・ で記載を整ってはれる業業等の際に ・ で記載を整ってはれる業業等の際に ・ で記載を表する事立な

古根にさっては支那職さいはで郷の正元年) 野歌からで待ちに待つた 市長線の醸造したのが共年の裏値 あつた、続し多年原帯して磨つた。 地で変が明けた感じで

本人のが正式 學校の鬼堂 は智剛正行氏の出記に係る際田山 (海温が続くなかった、非の成で 大連温が続くなかった、非の成で の職職の茄子の焼きは門外不出の機本義男氏出品に係る田能村代田

が に 無かったのが 是 あの 北流 銀行 に のが 能 次 振聴 炭が 入市 こたの も 質 い か で ある。 金 配 か 編 等 は

何でも御用命下さい

歌の歌州をかまするこのここであ を歌行するに飲いてはなるべく多 な歌行するに飲いてはなるべく多 す より出品したる書画を密地勝孝館大孫僧を始め津城衙口等の有志家 治師で四級行の事は 書畫展覽會

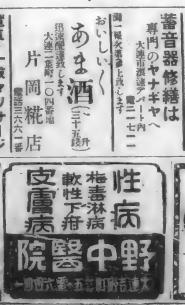
明治節拜賀式 では地震を表して、一般のでは、大学のは、一般のでは、大学のは、一般のでは、大学のは、一般のでは、 た福馬城は昨夜野順店市街に押入た福馬城は昨夜野順店市街に押入 十一月二日間東郷は催で家庭課理十一月二日間東郷は催で家庭課理 家庭講座開催

後氏器「生き 7子 可愛い 子子のお気になっている。 3

ムフグサービス にて御用命に應じ 引立の程を対し 行 乳もみ、鍼灸、熱気、太陽紫乳もみ、鍼灸、熱気、対気、大陽紫

飲マツサージ院

病藤 光線斜花柳病 科·小兒科







TO THE PARTY OF

天

(179 Y

| 埋葬式も明年中には執行出来る見 | 「本を観察した」
| 工事を観察した|
| 工事を観察した|
| 工事を観察した|
| 工事を観察した| 遞信慰安會 二の献日正午 邦人殺し車夫

吹雪中に市民出迎ふ

移駐

工事視察

近く開業

ホテル洗濯部

、既に内部の工事は殆ど完成した。

干側の紫紫吹入が漱するため同業 三曲合奏、昭和ゲンス、中三番れが設置された鳴には少くさも二 されが設置された鳴には少くさも二 さ 日共局島のみの素人演説を試みるれが設置された鳴には少くさも二 さ 命つた事が別り支那官殿北市場徳渡茂事劉麟恩(三 汗車取締人院本清八(=)日夜橋立町十三番地ヤマ して観光の軍傷を

踏み込んだが徹は既に子の事情を譲解を得て十五日午後二時劉がに ので郷を取押へるこ同時に子の大知り旅費まで興へて聯郷せらめた 鬼童も教師も大車戦で準備してゐ 唱歌會の盛況 昨年よりも多

◆商・高校 赤銅二名、 脳チアス 六名、バラチブス四名(以上適學生)、 一年を上 パラチブス一名(以上適學生) 「學生」 宿生) 脳チブス二名。 パラの名、パラチブス三名。 以及を 赤炯二名。 脳チス

守備隊の

交替

が、或は今後毎週一回製食の機筋 見を行び全市に配り患者の早期費 してび全市に配り患者の早期費 観光解の温楽に置み 警察當局 豫防に腐心

低し種々か心を重れてぬる 中職間田中職は同年前九時二十七七年前九時二十分養殖事にて来職二十分養殖事にて来職 して限中隊に挨拶を降し久智島在 と萬能繁都に出棄した 際にて萬能を三

寒氣襲人 營

下心三十廿年

柔道長春軍

数日以來組織録に

六人組馬賊

カ

y.

7

微核炎 授學換 質引數 質受強

無難口事大張一八二九番を 西 四 七 二 番 の 七 二 番 番 四 七 二 番 番 四 七 二 番 番

十万万万

間七九。五五九番!!

店

湯崗子公園高地で

飯島曹長記念碑 來る五日除幕式 石 是非御用命御光來の程賑わしく 冬物新柄豐富荷揃

九條武子夫人推奨 むゆうげ着尺ピジトール服、フジザニ錦紗

和洋食料品、生野菜類酢、罐詰、瓶詰、煮物、乾物類 後大 島 商

ででません各食は品店に を帯がません各食は品店に を帯がません各食は品店に を帯がませんと

資物の紫王婦の譽を

内科性病 アツミ醫院

海陸鮮

物軍魚

問用屋達鉾

御蒲

產海

無要 家畜病院 電話九八〇三等 電話九八〇三等 電話九八〇三等 電話九八〇三等 これ 世後

略家畜診療

特許野間式スト

意樣

石井家畜病

洋服類意裝 筑後屋的店

の自白 よにおいて

を行んで被順たるか

無機り難さも

後間の響きは飛馬艇だしるを監

(野茶)▲初股川副李▲二段

庭球部映畵會

を編つた。 ・ は興族を報け観選の意を表し抗 ・ は興族を報け観選の意を表し抗 ・ の目各戸 ・ には興族を報け観選の意を表し抗

労働隊兵舎に入つた。この日の

御に魔

八時半列車で

一人と特明、彼の自自により他像個を強奪逃走せる四人組塑盗 原源林(こ)は電天器にて

の川通り、御殿者ごつこなどで

ル 第二部では草 の星の光

Man die

長春美術展

場相は六十銭(明上後変りの後機等) 大吉経」連都五郎武誕及陽田時度 大吉経」連都五郎武誕及陽田時度 では近金楽態のたり映す人

で活剤第一

は五十銭にて産場部長の手能にあり、後継線は六十銭低三後変りの後継線

蓋平歴住民は聯線地、郷内の二日
にて同地に下車兵營に入ったが全

歩詰し

早滅御配達申上げます

奴

**

語し

七六

其の他御注文の節は多少に拘らず

平に移跡する事さなり第十六列車別項第一中隊の一部は三十二日童

守備隊歡迎會

※かりんむし 業二

二個に付

四十錢均

守備兵

東拓總裁 卅丁過奉熊岳娘 できずる事務官一行五名。

店 行册 驟馬轢かる

記念碑を

寄贈

一般感染社に変素し谷戸には國族を 前九時より小學校識堂に然て嚴強 に行はれ歴性民多歌・髪列の上熊。

本

溪

湖

既報の軍隊の移駐交代は十月三十

守備隊の交替

観覧時間は午前九

のであり、出場の暖が、おいまであり、出場であり、出場の暖が、かられる。

岳

の音楽會を催すべく目下盛に練習の音楽會を催すべく目下盛に練習の概念會を意味し水墨息電に分れ、附顧地に楽る十一月三日

刺語捧讀式

京季」の銘を頼んだ艶念 を動し不日鮮満する等であ を観し不日鮮満する等であ とのため窓町小県俊々医

助かつた 歌つた際職務局の驟塵に小弦を乗房店を登して、公學堂前路城に差 店を養して、公學堂前路場に差十日午前九時五十分の列車が高 神一基を寄贈した るが、 部念のため窓

軍隊の謝狀

患者

死亡者も十九名

る総合版単智の機會さし機関地味 守備除水

表現の時期でしか義ある記念者の

刺語記念式

一日午前十一時六分費列車にで第一中隊任室々長舎に入り無難を連って下野中隊長に 野中隊長等都を違って大阪・ を持ちたで表して、 の一日午前十一時十五分費列車にで第一中隊任室を大阪第一中隊は高野中隊長の計画へを を持ちたで表して、 の一日午前十一時十五分費列車にで、 の中隊任室を、して、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでである。 でである。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでである。 のでは、 のでである。 のでは、 のでは

順 旅 青

集 順 木

話三六 テ 七

ル

町

響



金旗拾

錢

店海屋見丸 京東 鏑木能石ワツミ〇

ORY 0.3

ム爺レプレイ

卜板

淡路町十

永井婦人

心醫院

電話三六六六番

女智 永

十年

名響を飾つけなかつたのである。 この奴状夫の血をみ 3 れた者は悩未亡人の機能を受けて 酸はなかく無

五和昭

サデンホーフト光る 男のは何時 常彩布 をかとをおるる 在松五年、川大九

の耐氣は龍に江戸ツ

交盛の部守中に要女をたぶらからていがだ人たる市内港間町十一張に大連市東寺見巌曜家屯居住宅成に

宏道念の選挙

花大會

御共鳴下さいまして一層の御引立を御顧申して新しい品 安い品 と復興の意氣にして事を御詫致します。今回漸く修築を了る店外未完成乍ら開店いたしました。而うるた般出火以來皆様に御迷惑をかけませる。

いまして一層の御引立を御顧申 いまして一層の御引立を御顧いたしました。而う 成年ら開店いたしました。而う 出火以來皆様に御迷惑をかけま 出火以來皆様に御迷惑をかけま

能みに解んだ感染が、非常な美歌 をなって人を聴かせた四人の実験 はながまです、婦人仏楽部

水上器では卅一日午後宗を北野町 一型の整彩様氏で、同人は前科二郷、 一般を自由した、同人は前科二郷、 一般を自由した、同人は前科二郷、 一般を自由した、同人は前科二郷、 一般を自由した、同人は前科二郷、 一般の一般に更る場合。 一般の一般に更る場合。

中央信越兩線

東京州一日豊電温 今駅中央部 南土見外近に飛雪あり昨年より十 九日早~機変追介十五センチ、小 総十センチ、(協変追介十五センチ、小 の機響があった。

中車舞臺で卒倒

手

賣金:

整井試錐工事際需地下水の調査鑑定

電六五四四番

丁鑛業所

茶碗茶

T. F

玩具文具

毎日含書店

とたもので、何分七十一歳の高齢を促化したが、聴動の脱資動を起

東都六大學リーク殿開始以本 六大學リ 順位豫想投票

を監後さして無味百パーセントの でひの窓が閉ざされ苦部十有六年 でひの窓が閉ざされ苦部十有六年

の森洋行式潮運動具店神樂の三 を総切った結果後然人類な呼び 想投票を享載し去る二十一日投 想投票を享載し去る二十一日投

干七百十三名の大多数の藤原者

御婚禮用御履物は多 Ξ 內

電話五七一七番

**** 愈々 シーズンとなりました!!! 防寒の御用意に本年も一層の御引立を出 ール、獅毛皮裏、アストラカン帽子、外套類大山途 最廉價で優秀な品ばかり 流行と實用の粹を聚め新入荷

このシーズンに入りました 例年の通り多数毛皮着荷致し 即仕度は即充分ですか?・ を調へて下さい。) を調へて下さい。) 毛皮帽子金三圓五十銭り毛皮ショール金八 圓より

今年は常外の蝶かさであつた瓦房 底にも卅一日正午頃から西北の 繋が降つた、佛と昨年に比較する でが繋ば中ケ月連れたこ 『五房店 瓦房店に初雪

節邦賀式を繋行するがその式次は

年前十時署員一同公集、署長以下御道影挙拜、署長以下御道影挙拜、署長以下一同殿 「御道影挙拜、署長以下一同殿杯を 事け署長の發撃にて天皇陛下萬 最三唱▲退散▲午前十時三十分 より同十一時十分迄の間に於て より同十一時十分迄の間に於て

奉祝菊花展

小學校公學堂長の

優遇案卅

日決定

差し當り推薦されるもの

州内外で五名位か

神社でも祭典

大連段政警では十一月三日の明治一明治警部日大連開社に於ては午前 明治節拜賀式 討伐隊總攻擊開始

という。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を主した。 をいました。 をいまた。 をいまた。 をいました。 をいまた。 大連 安那地國展館會(十月三十十分) 「一大連」安那美術及び凶奴に関するもので、三周日ン もの(十世頃) ・ 200(十世頃)

名低で若し揺戯されるものさすとないまとく三十一日の際語で決定

滿洲の讀書週間

勅諭煥發四十周年記念と併せ

既に各地で開催さる

の名様などのいます。 一ので自然性性の変更に困難を禁じる。 一ので自然性性の変更に困難を禁じる。 では、なるので、楽年度 の名様などのいまして、楽年度 の名様などので、楽年度 の名様などので、楽年度 の名様などので、楽年度 の名様などのいまして、歌音に思いる。

III一日登電通』や朝六時歩 IIII)日登電通』や朝六時歩

陣地を築き

霧社生蕃事件後報

兇蕃防禦

御內着帶式 御日取仰出さる 大部分は午前六時カファク社に向を数く転傷中、なは被智生部隊のを数く転傷中、なは被智生部隊のを数く転傷中、なは被智生部隊の

献るので一部から助間・ 歌に記はれる歌き楽間は監察時に 繁年十一月一日から一連問全員一

日から二日間 浮世倫 及5古本殿雲會 會を開催し、安東は既に残月十二

際式を得はせられる第一日傾出に続て御飯艇御五飾月の御内褶に続て御飯艇御五飾月の御内褶に 東京一日登職通 皇后陛下に 『東京一日登職通』皇后陛下に 兇蕃反攻

支那警官が

墓標を盗む

ハルピン郊外

日 記載は概念するので満洲谷地の職 長春 明治時代に関連 あが、本年は恰も動語焼養四十年 関するもの(同上) 書橋を質問・したので満洲谷地の職 長春 明治時代に関

邦人墓地で (童老三十一日養電通)三十日午 後二時頭||西部職がトロックを養 後二時頭||西部職がトロックを養 後二時頭||西部職がトロックを養 能に大火糧が上りつトめるので慰 職に大火糧が上りつトめるので慰 職に大火糧が上りつトめるので慰 で、大人糧が上りつトめるので慰 したの西南二十町の所で歌人二十名

公安隊が鮮人彈壓

不逞鮮人が上肥地に潜入したご 鐵嶺署から警官急行

(土)

州內小學兒童書書展覽會

滿日講堂でけふから 開く **冯流绎花會**

って行く響がない、境風計りでな一前に比して賦断では関擬が三千型のて行く響がない、境風計りでな一前に比して賦断の網果後小園が分立して職 国民生活の不便は多大なものである。 に伸ばたのだから風視聴髪をの他し

変り脱後ョーロッパの接続は釜々 の酸力は緩々と嗽滞各側に健人しの酸に乗じてアメリカの大資本

者きり伯のこ 0

る機兵力は脚 始の像定でも 一社戸數 徽柳六百名、少兵

後七時年市社會館で催される智の明治部組織者を抵棄な態態会は三日午の明治部組織者を認識会は三日午

にして陣域を築き防壓してゐる 二、飛行隊は本日天候不良のため 石、飛行隊は本日天候不良のため 一で、埔里方面の出動部隊は三十日 では、「一下では、「一下では、「一下では、「一下では、」 では、「一下では、「一下では、「一下では、」 では、「一下では、「一下では、」 では、「一下では、「一下では、」 では、「一下では、「一下では、」 「一下では、「一下では、」 「一下では、」 「一下では、「一下では、」 「一下では、「一下では、」 「一下では、「一下では、」 「一下では、「一下では、」 「一下では、」 「一下では、 「では、 「 「では、 「でし

蕃社に火災起り延焼中

紅六戶、男十人、女十 旦三十八人、肚丁五十 **五百九十二人、肚丁一百七十二月、男六百**

何等變更はせぬ 松田拓相閣議で報告

一、 等社前面の兇者(約百五十名 で、一、 等社前面の兇者(約百五十名 で、一、 等社前面の兇者(約百五十名 で、一、 等社前面の兇者(約百五十名 で、一、 等社前面の兇者(約百五十名 で、)

| 『東京三十一日景電道』三十一日

討伐隊の兵力

時代より首様前通り三十一日の

日曜の催物

全所有股名剛體優勝放爭側版午 前九時より大連運動場に於て 大連俱樂部對青成ラグビー眼午 後二時より大連運動場に於て 三十分より大連運動場に於て 三十分より大連運動場に於て 三十分より大連運動場に於て 三十分より大連運動場に於て

けふの満日講堂

海原は免訴か

蕃刀を以て 巡査を斬首 阿部懲役二年

難者語る

苦力墜落絕命 卅一日午

職家際遊遊を建し約四十分で総命、 のしは過つて足を踏み外し継順内に での開東東地にて二番艦線に逐絡 での開東東地にて二番艦線に逐絡 では過つて足を踏み外し継順内に では、中の開東地に交換で

要迄實つた强か者

日本各地名産 二日の二日門 **対씂縮**歇一 壹箱 福賣 三十五錢

東京風菓子謹製

酒類

000

